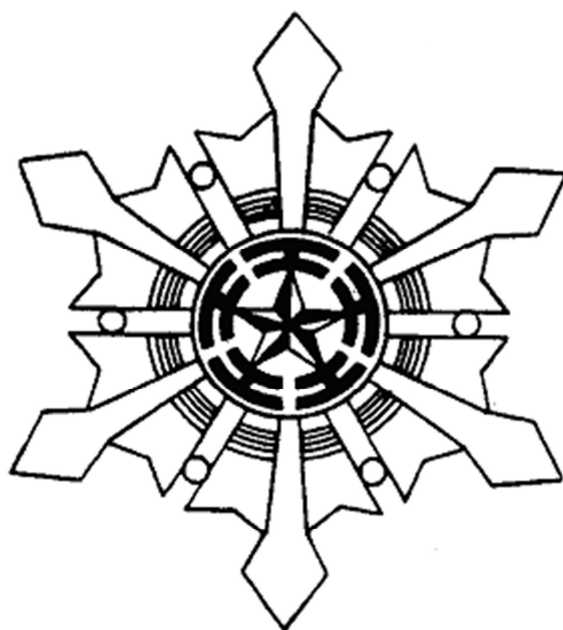


消防年報

令和7年版



江別市消防本部

市 章

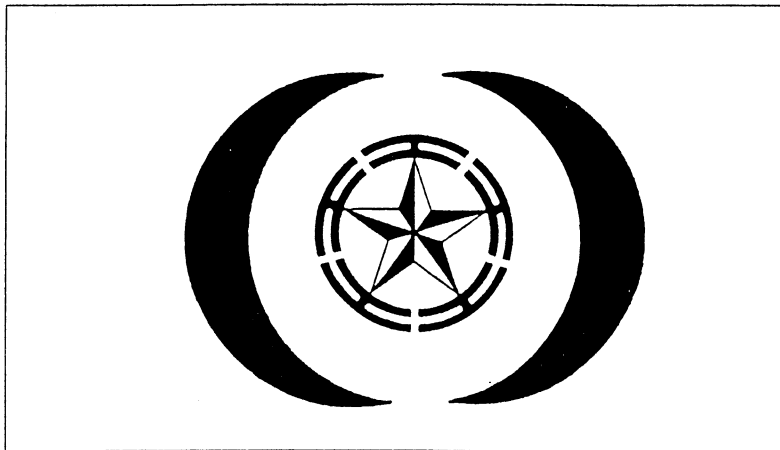


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年 5 月25日

は し が き

この年報は、令和7年中の江別市の災害、救急統計に基づく災害活動と令和8年1月1日現在の消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

令和8年1月

江別市消防本部

目 次

*総 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防庁舎の概要	2
消防現勢総括表	3
令和7年度経常・臨時別分析表	4
令和7年度当初消防費予算（歳出）	4
消防機構図	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢状況	6
消防職員階級別勤続年数状況	6
消防吏員各種資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

*予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
各種届出状況	12
民間防火組織等状況	13
火災予防各種行事实施状況	14

*警 防 編

消防自動車等の現勢	15
消防水利設置状況	16
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	16
札幌圏消防指令センターの運用について	17

*災害等総括編

月別災害等受付状況	18
過去5か年災害等受付状況	18
災害等出動状況	19
月別災害等出動状況	19
過去5か年災害等出動状況	19
警戒等出動状況	20
地区別警戒等出動状況	20
過去5か年警戒等出動状況	20
救急支援出動状況	21
地区別救急支援出動状況	21
過去5か年救急支援出動状況	21
北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	22
航空隊応援要請状況	22

***火 災 編**

火災発生状況	2 3
月別火災状況	2 4
月別出火件数	2 5
出火原因別件数と火災損害額	2 5
過去 5 か年原因別火災発生状況	2 6
用途別火災原因調査	2 7
地区別火災状況	2 8
火災覚知別状況	2 8
時間帯別火災状況	2 8

***救 助 編**

月別救助出動状況	2 9
過去 5 か年救助出動状況	2 9
地区別救助出動状況	3 0
発生場所別救助出動状況	3 0

***救 急 編**

救急活動	3 1
月別救急出動状況	3 1
過去 5 か年救急出動状況	3 1
曜日別救急出動状況	3 2
時間帯別救急出動状況	3 2
地区別救急出動状況	3 3
高速自動車道救急出動状況	3 3
年齢別救急搬送人員調	3 4
年齢別傷病程度別搬送人員調	3 4
医療機関別傷病者搬送状況	3 4
救急隊員の行った応急処置件数	3 5
応急手当普及講習会の開催状況	3 6

***消 防 団 編**

消防団員数状況	3 7
消防団員階級別勤続年数状況	3 7
消防団員研修派遣状況	3 7
消防団員階級別年齢状況	3 8
消防団員出動状況	3 8

***消防の沿革**

江別消防のあゆみと主な災害等	3 9
	~ 5 2

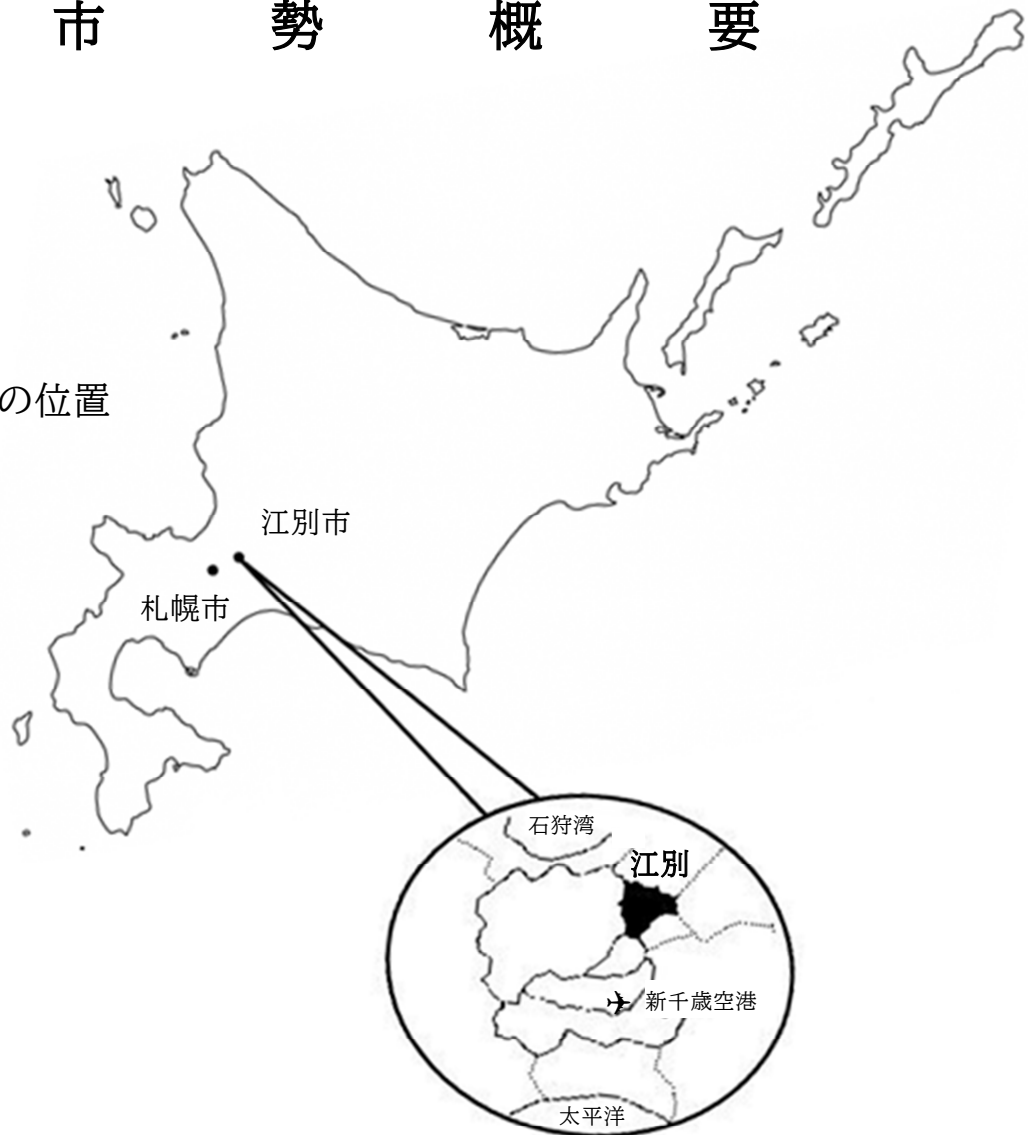
総務編



江別市消防本部庁舎

市 勢 概 要

江別市の位置



江別市は石狩平野の中央部に位置し、東西約17.3km、南北18.1km、総面積は187.38km²を有しています。地形は南端部の標高93.0mが最高で北東部低地帯が最低の標高2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として遷移してきております。

◆ 位 置 (極東) 東経141°40'20" (極西) 東経141°26'52"
(極南) 北緯 43°00'52" (極北) 北緯 43°10'13"

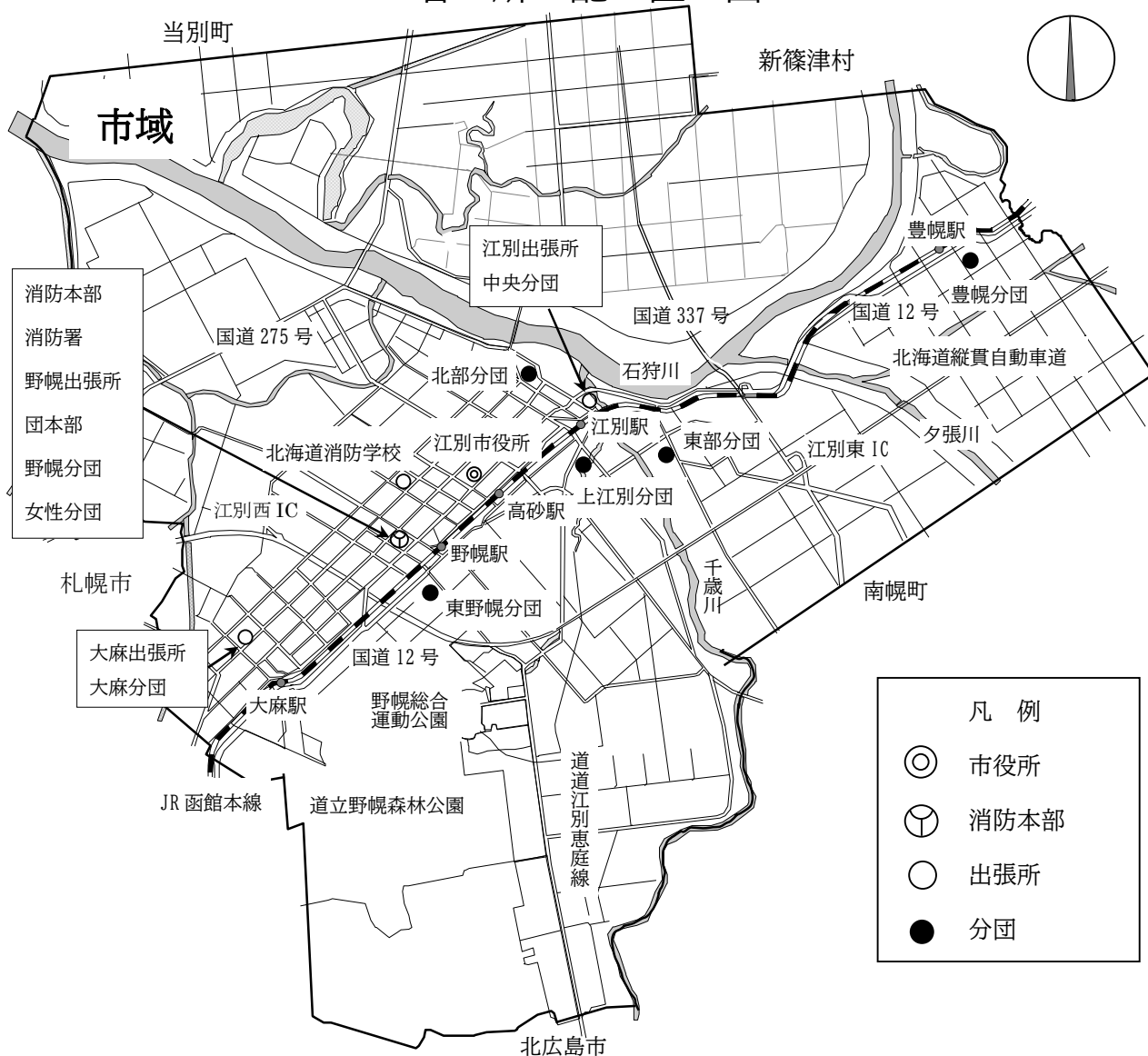
◆ 面 積 187.38km²

◆ 人 口 117,761人(住民基本台帳人口) 令和8年1月1日現在
男55,974人 女61,787人

◆ 世 帯 数 60,059世帯

◆ 気 象 (令和7年) 観測地点：地域気象観測所(江別)=気象庁
平均気温 9.1℃ 最高気温 35.4℃ 最低気温 -18.8℃
総降水量 917.5mm
平均風速 3.2m/秒 最大風速 15.1m/秒

署 所 配 置 図



消 防 庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消 防 本 部 ・ 署 (消 防 団 本 部)	野 幌 代 々 木 町 80 番 地 の 8	鉄筋コンクリート3階建 (一 部 4 階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成 4 年
江 別 出 張 所 (中 央 分 団)	3 条 1 丁 目 1 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	956.25	334.75	516.75	昭和59年
野 幌 出 張 所 (野 幌 分 団)	消 防 本 部 庁 舎 内					平成 4 年
大 麻 出 張 所 (大 麻 分 団)	大 麻 元 町 192 番 地 の 3	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 一 部 2 階 建	3,066.79	465.35	615.09	平成 8 年
北 部 分 団	緑 町 東 2 丁 目 55 番 地 の 2	木 造 モ ル タ ル 2 階 建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上 江 別 分 団	上 江 別 南 町 1 番 地 の 25	木 造 モ ル タ ル 平 屋 建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東 野 幌 分 団	野 幌 若 葉 町 7 番 地 の 3	木 造 ガ ル バ リ ウ ム 2 階 建	337.72	66.96	130.68	平成24年
豊 幌 分 団	豊 幌 686 番 地 の 10	鉄 骨 造 平 屋 建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東 部 分 団	朝 日 町 8 番 地 の 81	木 造 モ ル タ ル 2 階 建	441.05	87.48	174.96	昭和53年
女 性 分 団	消 防 本 部 庁 舎 内					平成 4 年

消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部		1 本部	消 防 団		1 団
消 防 署		1 署	分 団 数		9 分団
出 張 所		3 出張所	消防団員	定 数	200 人
当初予算	一 般 会 計	58,790,000千円		実 員 数	179 人
	消 防 費	1,991,974千円	非常備消防車両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	6 台
	比 率	3.4 %		小 型 動 力 ポンプ付積載車	3 台
消防職員	警 防 要 員	86 人		防 災 活 動 車	1 台
	救 急 要 員	27 人		※ 非常備消防車両には自衛消防隊への貸与車両を含む。	
	予 防 要 員	6 人			
	小 計	119 人			
	そ の 他 の 要 員	11 人			
	合 計（実員数）	130 人			
	定 数	130 人			
常備消防車両	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	4 台			
	化 学 消 防 ポンプ自動車	1 台			
	小 型 動 力 ポンプ付水槽車	1 台			
	救 急 自 動 車	5 台			
	救 助 工 作 車	1 台			
	は し ご 付 消 防 自 動 車	1 台			
	災害情報支援車	1 台			
	広 報 車	1 台			
	連 絡 車	2 台			
	小 型 動 力 ポンプ付積載車	3 台			
	災 害 支 援 車	1 台			
	指 揮 車	1 台			

令和7年度 経常・臨時分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,991,974	1,171,572	3,126	1,168,446	820,402	779,920	40,482

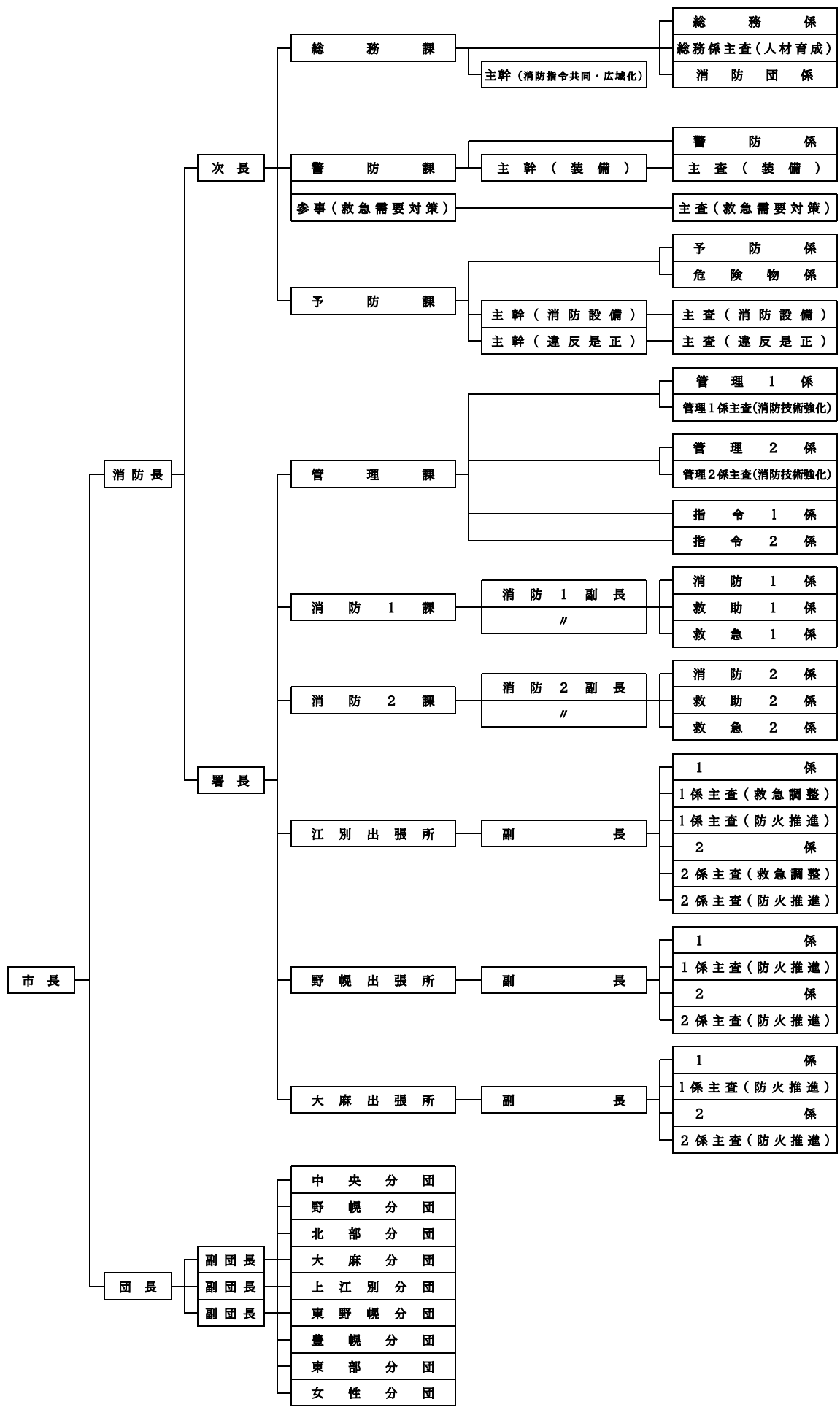
令和7年度 当初消防費予算（歳出）

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	984,363	645,662	338,701	782,306	202,057		
常 備 消防費	930,220	593,907	336,313	使用料・手数料 4 繰 入 金 34,000 諸 収 入 3,297 市 債 722,800 計 760,101	170,119	報 酬 職 員 手 当 等 報 償 費 旅 費 需 用 費 役 務 費 委 託 料 使 用 料 及 び 賃 借 料 工 事 請 負 費 原 材 料 費 備 品 購 入 費 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	5,217 1,523 268 2,065 75,794 17,963 76,584 6,136 44,987 110 128,851 570,722
非常備 消防費	29,305	29,460	△ 155		29,305	報 酬 旅 費 交 際 費 需 用 費 役 務 費 委 託 料 使 用 料 及 び 賃 借 料 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	18,459 1,636 40 3,238 34 115 71 5,712
消 防 施設費	24,838	22,295	2,543	諸 収 入 105 市 債 22,100 計 22,205	2,633	需 用 費 委 託 料 工 事 請 負 費 原 材 料 費 備 品 購 入 費	1,998 638 20,357 1,797 48

※ 職員給与費含まず

消 防 機 構 図



消 防 職 員 配 置 状 況

(人)

階級 部署		合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他
本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1								1
	総 務 課	7			2	2	2			1
	警 防 課	8			3	3	2			
	予 防 課	11			3	4	4			
計		28	1		8	9	8			2
消 防 署	署 長	1		1						
	管 理 課	13			1	6	5		1	
	消 防 1 課	18			3	3	11	1		
	消 防 2 課	18			3	3	10	1	1	
	江 別 出 張 所	24			2	6	8		8	
	野 幌 出 張 所	14			2	4	5		3	
	大 麻 出 張 所	14			2	4	4	2	2	
計		102		1	13	26	43	4	15	
合 計		130	1	1	21	35	51	4	15	2

消 防 職 員 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他
19 歳 以 下	3							3	
20 歳 ～ 24 歳	11						1	10	
25 歳 ～ 29 歳	22					17	3	2	
30 歳 ～ 34 歳	19					19			
35 歳 ～ 39 歳	11				1	10			
40 歳 ～ 44 歳	15				10	5			
45 歳 ～ 49 歳	16			2	14				
50 歳 ～ 54 歳	22			12	9				1
55 歳 ～ 59 歳	11	1	1	7	1				1
60 歳 以 上									
合 計	130	1	1	21	35	51	4	15	2

※ 平均年齢： 38.8歳 (再任用職員を除く)

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他
5 年 未 満	17					2	2	13	
5 年 ～ 9 年	22					18	2	2	
10 年 ～ 14 年	16					16			
15 年 ～ 19 年	19				7	12			
20 年 ～ 24 年	8			1	5	2			
25 年 ～ 29 年	18			5	12	1			
30 年 以 上	30	1	1	15	11				2
合 計	130	1	1	21	35	51	4	15	2

※ 平均勤続年数： 18.4年 (再任用職員を除く)

消防吏員各種資格取得状況

(人)

階 級 免 許 資 格			合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
自動車 運転 免許	普 通		12					4	3	5
	準 中 型（ 5 t 限 定 ）		5					5		
	中 型（ 8 t 限 定 ）		4		1	1	1	1		
	大 型		97	1		20	34	41		1
救 急 救 命 士			40		1	3	12	18	1	5
小 型 船 舶 操 縦		一 級	1			1				
		二 級	41	1	1	11	14	12	1	1
陸上特殊無線技士		二 級	46	1	1	13	19	11		1
		三 級	38			1	5	17	4	11
予 防 技 術 資 格 者		防火査察	38			8	21	8		1
		消防設備	16	1		7	2	6		
		危 険 物	17			4	4	9		
技能講習	小 型 移 動 式 ク レ ーン		31	1		6	13	9	1	1
	玉 掛 技 能		32	1		6	14	9	1	1
	酸 欠 危 険 作 業 主 任 者	酸素欠乏	24	1	1	10	7	5		
		硫化水素	22	1	1	9	7	4		
	足 場 組 立 作 業 主 任 者		6	1		2	2	1		
特別教育	ア ー ク 溶 接		13	1		6	5	1		
	高 圧 ・ 特 別 高 圧 電 気 取 扱		4				3	1		
	低 圧 電 気 取 扱		5				1	4		
	大 径 木 伐 木 等 作 業		13	1		2	5	5		
	小 径 木 伐 木 等 作 業		2					2		
	巻 上 げ 機（ウインチ）		11			1	4	6		
衛 生 管 理 者			11		1	2	7	1		
消 防 設 備 士		乙 種	8			2	6			
危 険 物 取 扱 者		甲 種	2			1	1			
		乙 種	41		1	9	14	14	1	2
		丙 種	7	1		4	2			

消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

教 育 課 程		年 度										
		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	
消防 大学 校	総 合 教 育 (上 級 幹 部 科 ・ 幹 部 科)							1				
	専 科 教 育 (火 災 調 査 科 他)			2								
	実 務 講 習 (消防団活性化推進コース・女性活躍推進コース 査 察 業 務 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス)	1			1							
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育		5	5	6	3	5	5	3	4	2	2
	専 科 教 育	警 防 科	2	1		1						
		予 防 査 察 科	1	1		1			1			
		危 険 物 科	1	1		1			1			
		火 災 調 査 科	1	1		1		1	1		1	1
		救 急 科	4	3	4	2	1	2	3	2	2	2
		救 助 科	2	2	1	1		1	2	1	1	1
	幹 部 教 育 幹 部 科		1	1		1						
	特 別 教 育	消防ポンプ操法指導員課程	1		2			2				
		はしご自動車運用課程	1	1	1			1		1		1
		広 域 応 援 指 揮 課 程			1	1					1	
		大規模災害捜索救助課程										1
	道 M C 関 係	ビデオ硬性喉頭鏡講習	2		1	2		1				
		処置拡大2行為講習	4	2	2	2		1				
札幌市 消防学校等	救 急 救 命 士 養 成 課 程	1			1	1	1	1	1	1	1	
	指 揮 隊 長 研 修	1	1									
	指 揮 隊 員 研 修											
行政機関 研修	市 町 村 職 員 中 央 研 修 所 全 国 市 町 村 国 際 文 化 研 修 所	1		1	1		2		2	3	1	
	北海道市町村職員研修センター	3	3	6	8	6	4	2	2			
	札幌市自治研修センター (札幌広域圏組合共同研修)			7	3							
合 計		32	22	34	30	13	21	15	13	11	10	

予 防 編



2025消防フェスティバル

危険物施設状況

(施設)

地区別 施設別		消防署			合計
		江別	野幌	大麻	
製造所					
貯蔵所	屋内貯蔵所	12	4	2	18
	屋外タンク貯蔵所	21	12	2	35
	屋内タンク貯蔵所	8	3	1	12
	地下タンク貯蔵所	62	58	41	161
	簡易タンク貯蔵所			1	1
	移動タンク貯蔵所	28	25	11	64
	屋外貯蔵所	4	2		6
取扱所	給油取扱所	15	16	4	35
	一般取扱所	26	23	12	61
	販売取扱所				
合計		176	143	74	393

危険物施設の許可・承認状況

(件)

許可承認別 施設別		設置		変更		完成 検査前 検査	仮使用	仮貯蔵・ 仮取扱	合計
		許可	完成	許可	完成				
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所								
	屋外タンク貯蔵所			1	1			1	3
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所			4	4				8
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	2	2	2	2				8
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	1	1	3	3		1		9
	一般取扱所			2	2				4
	販売取扱所								
合計		3	3	12	12		1	1	32

建築物確認申請消防同意処理状況

(件)

項目	区分	合 計	新 築	増 築	改 築	その他	耐 火	準耐火	その他
1	イ								
	ロ	4	4						4
2	イ								
	ロ								
	ハ								
	ニ								
3	イ								
	ロ	5	5					1	4
4		2	2						2
5	イ								
	ロ	8	8				6	2	
6	イ								
	ロ								
	ハ	5	1			4			5
	ニ								
7		1		1				1	
8									
9	イ								
	ロ								
10									
11									
12	イ								
	ロ								
13	イ	1		1					1
	ロ								
14		2	2					1	1
15		5	2	3			1		4
16	イ	3	2	1			2	1	
	ロ	3	1	2			1	2	
17									
そ の 他		13	12	1					13
昇 降 機									
計画通知									
小 計		52	39	9		4	10	8	34
専用住宅		17	16	1				5	12
小 計		17	16	1				5	12
合 計		69	55	10		4	10	13	46

政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

対 象 物			区 分	政令 対象物 (棟数)	選任義務 対象 (敷地数)	選任 届出済件 数	消防計画 届出済件 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		4	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場		75	62	60	60
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類		1			
	ロ	遊技場、ダンスホール		6	6	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類					
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類		1	1	1	1
3	イ	待合、料理店の類					
	ロ	飲食店		87	48	46	46
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場		111	88	84	84
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		5			
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		1,536	59	58	57
6	イ	病院、診療所、助産所		53	13	13	13
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設		55	45	45	45
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設		128	45	44	42
	ニ	幼稚園、盲学校、ろう学校、養護学校		3	1	1	1
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類		131	32	32	32
8		図書館、博物館、美術館の類		9	5	5	5
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類		1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		3	3	3	3
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場		3			
11		神社、寺院、協会の類		44	28	26	26
12	イ	工場、作業場		289	9	9	9
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫、駐車場		42			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫					
14		倉庫		273	4	4	4
15		前各項に該当しない事業場		259	40	39	39
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複用途防火対象物		220	128	127	127
	ロ	上気以外の複合用途防火対象物		124	37	37	37
16-2		地下街					
16-3		準地下街					
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物		1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード					
19		市町村長の指定する山林					
20		自治省令で定める舟車（省令5条）					
合計				3,464	657	643	640

各 種 届 出 状 況

区 分	件 数	区 分	件 数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	51	ストーブ・煙突取付清掃業届出書	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	118	少量危険物貯蔵取扱所設置(廃止)届	24
防火対象物使用開始(内容変更)届	89	指定可燃物貯蔵取扱所設置(廃止)届	3
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	154	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届		圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	208	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	1	催 物 開 催 届	6
燃料電池発電・変電・急速充電 発電・蓄電池設備設置届	20	道 路 工 事 届 出 書	30
炉・厨房設備・ボイラー設置届	19	劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	
温 風 暖 房 機 設 置 届		水素ガスを充填する気球の設置届	
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	5	煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	4
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		火災とまぎらわしい煙等届出書	70
ヒートポンプ冷暖房機設置届	1	自 衛 消 防 訓 練 通 知 書	1389
乾 燥 設 備 設 置 届	2	消 防 設 備 業 届 出 書	2
消防用設備等点検結果報告書	1,635	液体燃料を使用する設備・ 器具取付点検整備業届出	
防火対象物点検結果報告書	79		
露 店 等 の 開 設 届 出 書	101	合 計	4,011

民 間 防 火 組 織 等 状 況

団 体 名	会員数
幸 町 少 年 防 火 ク ラ ブ	30
幸 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	270
上 江 別 第 一 自 治 会 防 火 部	18
認定こども園大麻まんまるこども園幼年消防クラブ	50
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	80
認定こども園もりのひだまり幼年消防クラブ	142
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	90
あすかの森認定こども園幼年消防クラブ	78
認定こども園第2大麻こども園幼年消防クラブ	180
北 光 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	16
江 別 大 谷 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	59
認定こども園 若葉幼稚園幼年消防クラブ	89
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	70
愛 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	139
わ か ば 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	133
誠 染 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	65
上 江 別 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	197
認定こども園 あけぼの幼年消防クラブ	157
江別市よつば保育園幼年消防クラブ	110

団 体 名	会員数
江 別 市 防 火 管 理 者 連 絡 協 議 会	157
江 別 市 危 険 物 安 全 協 会	95
野 幌 森 林 自 衛 消 防 隊	13
江 北 地 区 自 衛 消 防 隊	65
23団体	2,303

火 災 予 防 各 種 行 事 実 施 状 況

行 事 名	期 間	概 要
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防啓発活動：情報図書館にて住宅用火災警報器の啓発物品の掲示、リーフレットの配布、防火・防災に関する図書の特集コーナーの設置 ホームページで住宅防火対策記事の掲載 幼年消防クラブ入団式：市内保育園・幼稚園の新入団園児（633人）の入団式 乾燥時や強風時の火災防止対策：野火警戒巡視、ホームページに火災予防啓発記事の掲載 放火火災防止対策：市内公園5箇所にのぼりの設置
危険物安全週間	6月8日 ～ 6月14日	危険物安全週間研修会：火災予防及び危険物の保安に対する意識啓発のため、タマダ株式会社の岸井様、池田様、門脇様並びに株式会社エネサンス北海道の澤谷様、相原様を講師にお招きし、研修会を実施
消防フェスティバル	9月6日	消防フェスティバルの開催：民間防火組織強化及び市民への火災予防啓発のため、体験型イベント「2025消防フェスティバル」を開催
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	住宅防火アドバイザー研修会：大麻西地区センターにて、火災予防に関する座学、電気・天ぷら火災実験、消火器の取扱いなど、身近に潜む火災危険とその対策について研修会を実施 防火啓発文・ポスターの配付：幼年消防クラブへ防火啓発文及び火災予防ポスターを配付
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	歳末特別査察：「イオン北海道株式会社 イオン江別店」にて実施 札幌石油事業協同組合江別支部による火災予防広報：灯油配送時に住宅用火災警報器に関するチラシを配付（5,000部） 道央農業協同組合江別支店及び野幌支店による火災予防広報：組合員へ火災予防啓発チラシを配付（420枚） 防火カレンダーの配付：防火カレンダーを作成し、事業所・自治会集会場へ配付 防火啓発文の配付：防火管理者連絡協議会及び危険物安全協会の会員事業所へ防火啓発文を配付
その他	随時	◆高齢者世帯見回り広報◆ 江別市民生委員児童委員の高齢者世帯見回り活動に同行し、防火相談や住宅用火災警報器の適正な維持管理について広報を実施 ◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 戸別調査においてリーフレットや広報チラシ入りポケットティッシュを配付 ◆火災予防広報◆ 消防本部庁舎、市役所本庁舎、市役所大麻出張所及び江別市立病院に設置したデジタルサイネージによる火災予防広報を実施 火災予防運動期間中に市内各所へ防火のぼり・垂れ幕などの掲示 ◆住宅防火コーナーの設置◆ 市内家電量販店など4施設に住宅防火に関する小冊子や住宅用火災警報器に関するパネルなどの設置 ◆市立病院健診センターでの広報◆ 火災予防運動期間中に市立病院健診センターに設置されているモニターを活用し、火災予防運動に係る予防広報を実施 ◆出前講座の開催◆ 暮らしの中に潜む出火危険や対応方法に関する意識啓発のための出前講座を開催 ◆小学生を対象とした「消防教室」の開催◆ 幼少期から防火防災意識を啓発し、地域における次世代の防災リーダーを育成するための教室を開催

警 防 編



水槽付消防ポンプ自動車 大麻2

(令和7年10月 納車)

消 防 自 動 車 等 の 現 勢

区分 配置		呼称名	種 別	車 名	積 載 水 量 (L)	乗 車 定 員 (人)	購入年月	特 記
消防本部 消防署		江 別 1	指 揮 車	トヨタ		4	H29.12	
		江 別 1 5	災 害 支 援 車	日 野		5	R3.02	
		江 別 2 0	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H21.08	A-2級
		江 別 2 2	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	10,000	3	R4.02	
		江 別 4	化学消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H29.02	A-2級
		江 別 5	救 急 自 動 車	日 産		7	R7.02	
		野 幌 5	救 急 自 動 車	日 産		7	R3.01	
		江 別 5 0	救 急 自 動 車	日 産		7	H29.12	
		大 麻 5 0	救 急 自 動 車	トヨタ		8	H25.04	予備車
		江 別 6	救 助 工 作 車	日 野		6	H28.03	
		江 別 7	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野		6	H30.10	先端屈折式
		江 別 1 0 1	連 絡 車	日 産		5	H24.07	
		江 別 1 0 2	広 報 車	トヨタ		9	H26.10	
		江 別 1 0 3	連 絡 車	スズキ		4	R6.11	
		江 別 1 1 9	災 害 情 報 支 援 車	トヨタ		5	H26.10	
江 別 出 張 所		江 別 中 央 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H27.01	A-2級
		江 別 中 央 5	救 急 自 動 車	トヨタ		7	R4.08	
		江 別 中 央 3 3	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	H31.01	
野 幌 出 張 所		野 幌 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	R2.03	A-2級
		野 幌 3 3	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	R1.09	
大 麻 出 張 所		大 麻 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	R7.10	A-2級
		大 麻 3 3	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		6	H28.12	
中 央 分 団		江別中央分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		7	H7.02	A-2級
野 幌 分 団		野 幌 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H25.12	A-2級
北 部 分 団		江別北部分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H30.01	A-2級
大 麻 分 団		大 麻 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ		6	H7.08	A-1級
上 江 別 分 団		上 江 別 分 団	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		6	R4.02	
東 野 幌 分 団		東野幌分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ		6	R5.02	A-2級
豊 幌 分 団		豊 幌 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H27.03	A-2級
東 部 分 団		江別東部分団	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		6	R6.03	
女 性 分 団		江別女性分団	防 災 活 動 車	日 産		4	H28.12	
自 衛 隊 消 防 隊	江 北	江 別 消 防 団	小型動力ポンプ付積載車	スズキ		4	H26.12	

消 防 水 利 設 置 状 況

(基)

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
江 別 地 区	332	109	43	17	3	504	2	6
野 幌 地 区	249	5	36	36	2	328		4
大 麻 地 区	165	13	15	6	1	200	1	4
合 計	746	127	94	59	6	1,032	3	14
	873		153				17	

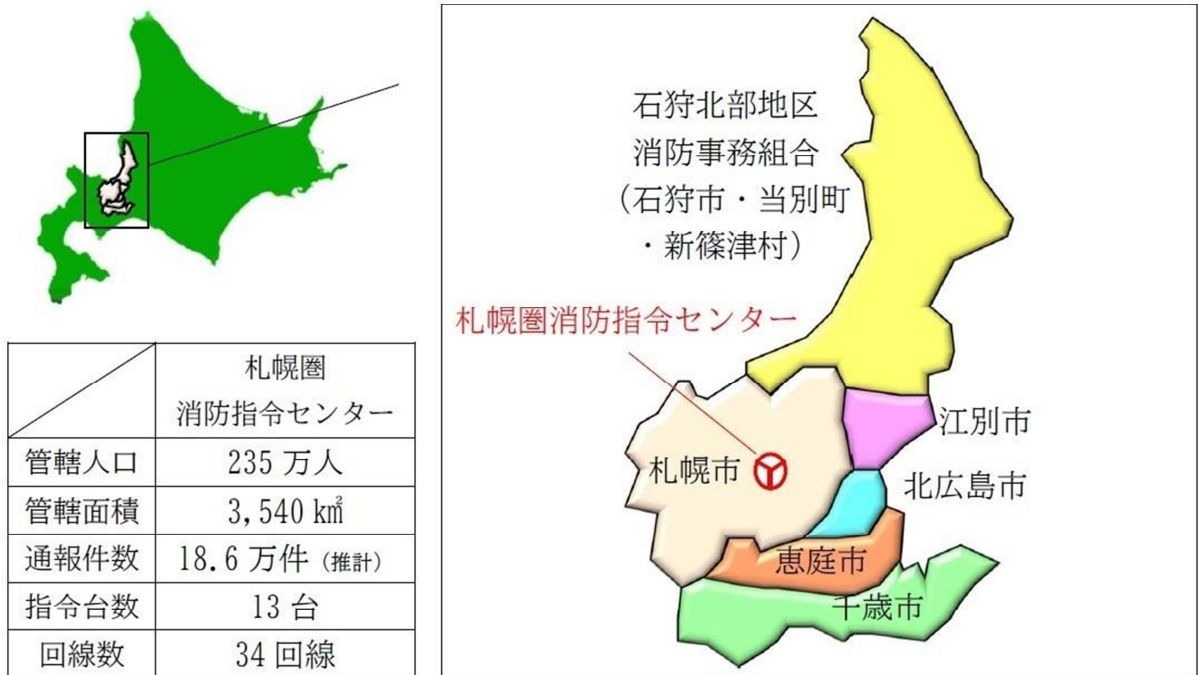
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

(基)

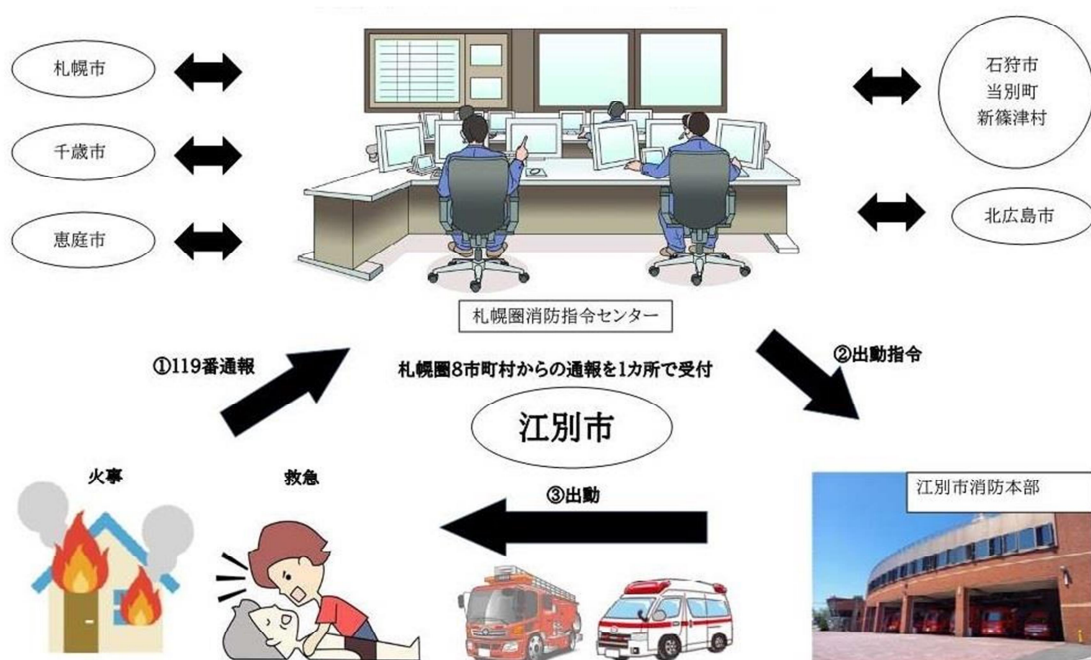
区分 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
市 街 地	706	125	89	40	6	966	3	9
準 市 街 地	20		3			23		
その他の地域	20	2	2	19		43		5
合 計	746	127	94	59	6	1,032	3	14
	873		153				17	

札幌圏消防指令センターの運用について

令和7年9月から札幌圏消防指令センター運用開始



札幌圏消防指令センターの119番受け付けイメージ



災害等総括編



火災現場活動状況

月別災害等受付状況

(件)

月別	火災	救急	救助	他の災害	データ指令	問合	通報訓練	悪戯	間違い	その他	転送	合計
1月	1	490	10	50		55	33	4	28	94	11	776
2月	19	452	8	26		28	57		20	93	12	715
3月	4	456	11	26		49	84		31	62	17	740
4月	3	390	7	28		37	93		34	85	10	687
5月	5	449	11	30		43	91		22	72	5	728
6月	13	429	13	27		38	100	1	28	57	6	712
7月	12	511	3	35		44	70		33	96	5	809
8月	3	488	10	16		43	92	20	21	119	10	822
9月 (9月16日まで)	6	228	3	17		21	36		18	47	2	378
9月 (9月16日から)		234	4	7								245
10月	2	496	1	17								516
11月		535	5	24								564
12月	5	536	1	25	2					1		570
合 計	73	5,694	87	328	2	358	656	25	235	726	78	8,262

※令和7年9月16日から札幌圏消防指令センターが運用開始され、江別市内の119番通報は札幌市にて受領されることとなった。

過去5年災害等受付状況

(件)

	火災	救急	救助	他の災害	データ指令	問合	通報訓練	悪戯	間違い	その他	転送	合計
令和3年	58	4,567	107	369		486	1,439	2	359	997	72	8,456
令和4年	57	5,166	124	467		747	1,506	12	387	1,124	89	9,679
令和5年	63	5,799	100	449		532	1,397	9	535	1,243	115	10,242
令和6年	62	5,487	95	416		446	1,175	8	373	875	98	9,035
令和7年	73	5,694	87	328	2	358	656	25	235	726	78	8,262

災害等出動状況

種別 分類	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	自然災害	計
出 動 件 数	33	6,045	109	215	248		6,650
出 動 隊 数	197	6,045	422	282	486		7,432

月別災害等出動状況

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	自然災害	計
1 月	2	529	9	19	41		600
2 月	7	491	7	6	26		537
3 月	1	476	11	15	16		519
4 月	3	423	8	12	22		468
5 月	3	471	9	16	25		524
6 月	2	461	13	13	19		508
7 月	4	545	3	22	20		594
8 月	1	518	11	10	10		550
9 月	3	478	8	31	11		531
1 0 月	3	518	4	22	15		562
1 1 月		564	13	23	23		623
1 2 月	4	571	13	26	20		634
計	33	6,045	109	215	248		6,650

過去5か年災害等出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	自然災害	計
令 和 3 年	35	4,870	120	154	269	12	5,460
令 和 4 年	31	5,429	138	249	282	3	6,132
令 和 5 年	41	6,081	104	179	316		6,721
令 和 6 年	40	5,811	107	176	268		6,402
令 和 7 年	33	6,045	109	215	248		6,650

※令和7年から統計方法を指令時の種別件数から発生原因ごとの種別件数に変更しております。

警戒等出動状況

種別 分類	警 戒						自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
出動件数	2	10	76	70	20	37		215
出動隊数	2	27	88	73	24	68		282

地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警 戒						自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
江別地区	1	3	17	35	10	15		81
野幌地区		4	32	22	9	15		82
大麻地区	1	3	27	13	1	7		52
計	2	10	76	70	20	37		215

過去5か年警戒等出動状況

(件)

種別 年別	警 戒						自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
令和3年	5	8	64	51	11	15	12	166
令和4年	7	7	70	94	46	25	3	252
令和5年		3	87	62	17	10		179
令和6年		4	67	71	17	17		176
令和7年	2	10	76	70	20	37		215

救急支援出動状況

種別 分類	救 急 支 援					計
	C P A (疑い含む)	搬送困難	活動障害	先行救急	その他	
出動件数	178	13	4	46	7	248
出動隊数	358	26	8	86	8	486

地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援					計
	C P A (疑い含む)	搬送困難	活動障害	先行救急	その他	
江別地区	68	5	1	19		93
野幌地区	52	6	2	16	3	79
大麻地区	58	2	1	11	4	76
計	178	13	4	46	7	248

過去5か年救急支援出動状況

(件)

種別 年別	救 急 支 援					計
	C P A (疑い含む)	搬送困難	活動障害	先行救急	その他	
令和3年	237	1	19		12	269
令和4年	253	9	6	7	7	282
令和5年	248	2	12	46	8	316
令和6年	198	6	11	44	9	268
令和7年	178	13	4	46	7	248

※ 搬送困難は、傷病者の搬出困難時救急支援のために消防隊が出動した件数である。
 ※ 令和7年から統計方法を指令時の種別件数から発生原因ごとの種別件数に変更しております。

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

応援出動状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
火 災 出 動	1	5	15	
救 助 出 動				
救 急 出 動	2	2	6	
警 戒 出 動	2	2	8	
救急支援出動				
計	5	9	29	

(応援先内訳)

南空知消防組合	3件	岩見沢地区消防事務組合 1件
石狩北部地区消防事務組合	1件	

被応援状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
火 災 出 動	2	7	23	
救 助 出 動	2	9	31	
救 急 出 動	10	11	34	
警 戒 出 動				
救急支援出動				
計	14	27	88	

(要請先内訳)

札幌市消防局	9件	岩見沢地区消防事務組合 2件
南空知消防組合	2件	北広島市消防本部 1件

航空隊応援要請状況

(件)

要請内訳 航空隊別	要請 件数	内訳					
		交通事故	急病	自損行為	労働災害	火災	その他
ドクターヘリ	11	5	1	1	3		1
北海道防災ヘリ							
そ の 他							
計	11	5	1	1	3		1

火 災 編



火 災 現 場

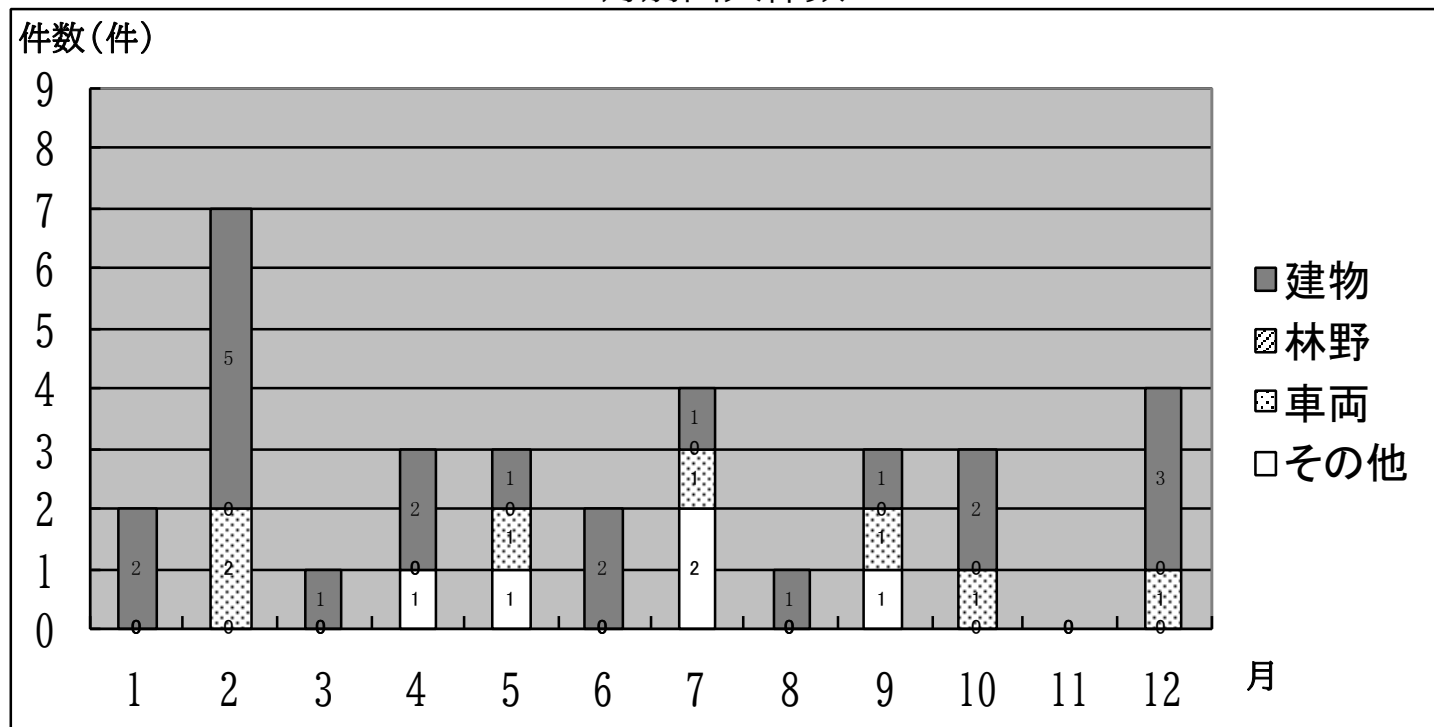
火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳	
出 火 件 数	建 物 火 災 2 1 件	車 両 火 災 7 件
	林 野 火 災 0 件	そ の 他 火 災 5 件
	合 計 3 3 件	
焼 損 棟 数	全焼4棟・半焼3棟・部分焼7棟・ぼや11棟 合計25棟	
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	7 9 7 m ²
	焼 損 表 面 積	1 5 8 m ²
林野焼損面積	0 a	
損 害 額	建物の損害 7 0 , 8 6 4 千円	車両の損害 3 , 1 3 8 千円
	林野の損害 0 千円	その他の損害 1 6 千円
	合 計 7 4 , 0 1 8 千円	
死 傷 者 数	死者1人・負傷者6人	
出火1件当り 焼 損 面 積	約38m ²	

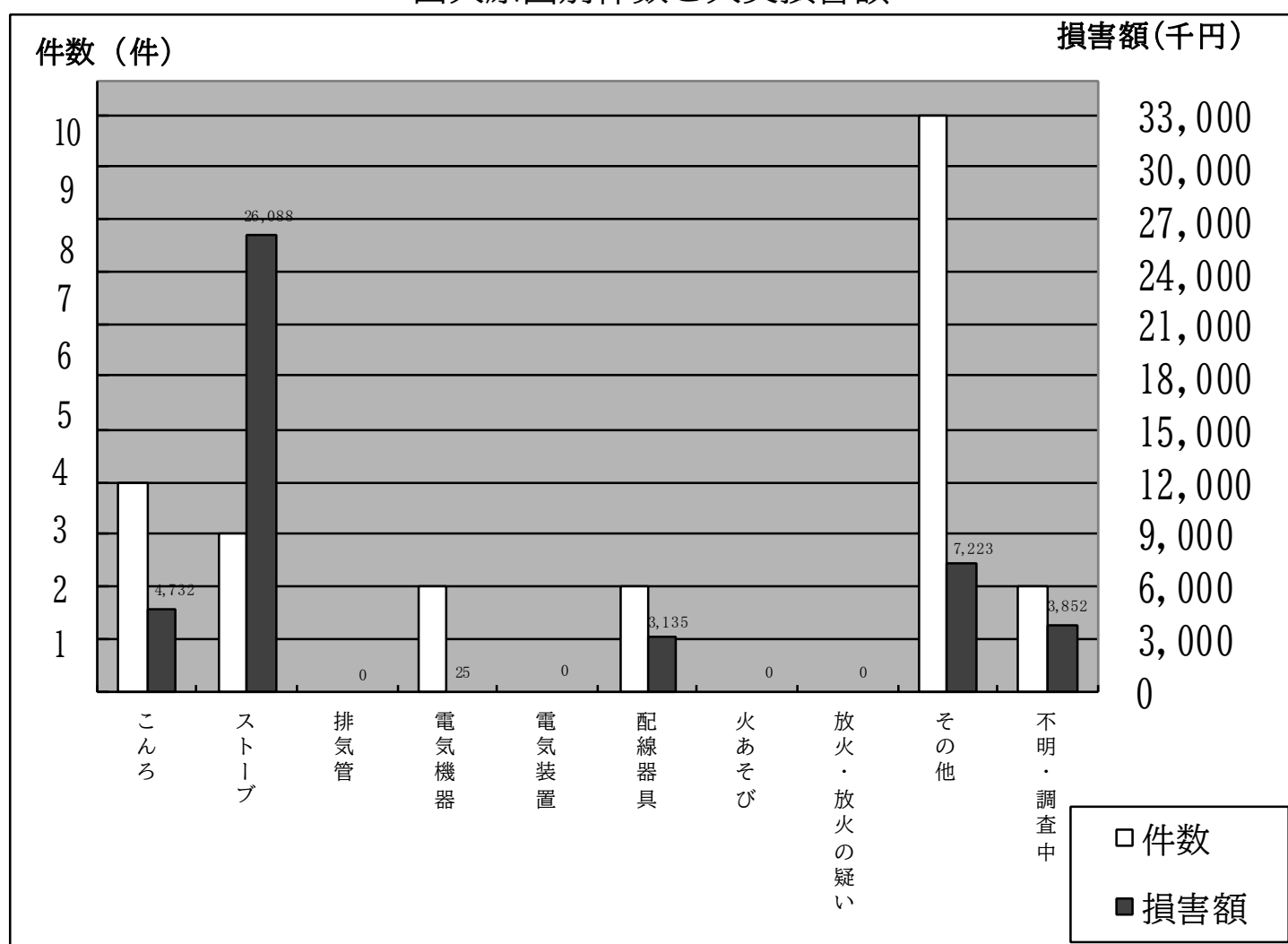
月別火災状況

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火事件数	建物	全焼		1		1		1				1			4
		半焼		1	1					1					3
		部分焼		1			1	1						1	4
		ぼや	2	2		1			1		1	1		2	10
		小計	2	5	1	2	1	2	1	1	1	2		3	21
	林野車両船舶航空機その他	林野													
		車両		2			1		1		1	1		1	7
		船舶													
		航空機													
		その他				1	1		2		1				5
合計		2	7	1	3	3	2	4	1	3	3		4	33	
焼損棟数	全焼		1		1		1				1			4	
	半焼		1	1					1					3	
	部分焼		1			1	4						1	7	
	ぼや	2	2		1		1	1		1	1		2	11	
	計	2	5	1	2	1	6	1	1	1	2		3	25	
焼損床面積㎡				247	38	226	71	75		36		93		11	797
焼損表面積㎡			1	6				129						22	158
林野焼損面積a															
り災世帯	全損		1		2		2							1	6
	半損			1										1	2
	小損	2			1		8	1		1	1			4	18
	計	2	1	1	3		10	1		1	1			6	26
り災人員			4	1	4	10		16	1		1	3		13	53
死傷者等	死者		1												1
	負傷者		2		1		1				1			1	6
	計		3		1		1				1			1	7
焼損見積額千円	建物	34	32,306	5,583	20,505	262	8,562	10	833		1,122		1,647	70,864	
	林野														
	車両		1,514			646		465		35	128		350	3,138	
	船舶														
	航空機														
	その他				8			8						16	
	爆発														
計		34	33,820	5,583	20,513	908	8,562	483	833	35	1,250		1,997	74,018	

月別出火件数



出火原因別件数と火災損害額



過去5か年原因別火災発生状況

(損害額単位：千円)

原因別	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ			4	201	2				3	1,095
こんろ	2	32	2	3,779			3	201	4	4,732
かまど										
風呂かまど										
炉					1					
焼却炉			1							
ストーブ	1	1,643	1	14			4	21,850	3	26,088
こたつ										
ボイラー			1	3,241						
煙突・煙道										
排気管	1	47	1	68	2	20	3	2,352		
電気機器	2	74	2	8,721	3	23	2	16	2	25
電気装置	1						3	479		
電灯・電話等の配線	3	18,794	1	59					2	157
内燃機関										
配線器具	1	118	1	2			3	5,668	2	3,135
火あそび							1	7		
マッチ・ライター	1	1								
たき火										
溶接機・切断機					4				3	40
灯火					1	5,500			1	27,671
衝突の火花										
取灰					1					
火入れ										
放火	4	15,306			1	2	1	267		
放火の疑い	1						3			
その他	7	19,248	4	1,766	7	540	10	29,995	11	7,223
不明・調査中	1		4	3,761	2	1,239	1	1,140	2	3,852
合計	25	55,263	22	21,612	24	7,324	34	61,975	33	74,018

用 途 別 火 災 原 因 調 査

区分	火元用途	出火箇所	発火源	経過	着火物
建 物 火 災	住宅	壁内	壁に打ち込んだ釘	漏電（地絡）する	木ずり
		居室	充電式電池	電線が短絡する	その他
		居室	ローソク	火源が転倒落下する	畳
		居室	石油・ガストーブ（密閉式）	可燃物が火源の上に落下する	衣類
		居室	石油・ガストーブ（開放式）	可燃物が動いて火源に触れる	繊維製品
		居室	ストーブ（半密閉式）	不適当なところに捨て置く	袋及び紙製品
	共同住宅	台所	簡易型ガスこんろ（カセット型）	放置する、忘れる	動植物油類
		台所	電磁調理機器	考え違いにより使用を誤る	繊維製品
		台所	その他の炭たどん（練炭）を燃料とする物	かまど等の火を熱しすぎる	合成樹脂と成形品
		居室	テーブルタップ	電線が短絡する	電線被類
	複合用途（特定）	調理室（場）	ガスこんろ	放置する、忘れる	動植物油類
		調理室（場）	ガステーブル	放置する、忘れる	動植物油類
		廊下	充電式電池	構造不完全 デザイン不良	合成樹脂と成形品
	工場	作業場、工場	ジェットヒーター	残り火の処置が不十分	第一石油類
		作業場、工場	その他の高温の個体	可燃物が火源の上に落下する	第一石油類
	倉庫	一般倉庫	たばこ	残り火の処置が不十分	袋及び紙製品
		一般倉庫	壁に打ち込んだ釘	漏電（地絡）する	板張ベニヤ
	事務所	一般事務室	ハンドトーチ	放置する、忘れる	衣類
	その他の用途	壁内	屋内配線	絶縁劣化による発熱	木屑、かんな屑、のこぎり屑
		一般倉庫	不明	不明	不明
		作業場、工場	たばこ	不適当なところに捨て置く	木屑、かんな屑、のこぎり屑
車 両 火 災	車両	運転席	スイッチ	スパークする	LPG（スプレー用）
		荷台、船そう	溶接器	火花が飛ぶ	合成樹脂と成形品
		客席	バーナー	意図なしにスイッチが入る	座席シート
		外周部	軸受	摩擦により発熱する	枯草
		外周部	アセチレンガス溶接機・切断機	火花が飛ぶ	タイヤ
		荷台、船そう	その他の配線	過多の電流を流す	電気配線類
		外周部	ブレーキライニング	摩擦により発熱する	タイヤ
そ の 他 の 火 災	その他	敷地内	不明	不明	ごみ類
		敷地内	アセチレンガス溶接機・切断機	火花が飛ぶ	その他
		河川敷等	たばこ	不適当なところに捨て置く	枯草
		敷地内	ハンドトーチ	本来の用途以外の不適の用に用いる	枯草
		敷地内	アセチレンボンベ	火源が動いて接触する	衣類

地区別火災状況

(件)

地区 \ 種別	建物火災		林野火災	車両火災	その他火災	合計
		うち住宅火災				
江別地区	13	7		4	3	20
野幌地区	6	3		2	2	10
大麻地区	2			1		3
合計	21	10		7	5	33

火災覚知別状況

(件)

種別 \ 件数	火災報知専用電話 (加入)	火災報知専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件 数	7	20	1		3		2		33

時間帯別火災状況

(件)

時間帯	件数	構成比
0～1時台		
2～3時台		
4～5時台		
6～7時台	1	3.0%
8～9時台	3	9.1%
10～11時台	4	12.1%
12～13時台	6	18.2%
14～15時台	7	21.2%
16～17時台	6	18.2%
18～19時台	2	6.1%
20～21時台	3	9.1%
22～23時台		
時間帯不明	1	3.0%
合計	33	100.0%

救 助 編



交 通 事 故 で の 救 助 活 動

月別救助出動状況

(件) (人)

種別 月別	出 動 件 数	事 故 種 別								救 助 人 員
		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 欠 ス 事 及 び	破 裂 事 故	
1 月	9	3				3	1		2	5
2 月	7	2	1			2			2	2
3 月	11	1				5			5	8
4 月	8	2				6				6
5 月	9	2				5			2	4
6 月	13	3				7			3	9
7 月	3	1				1			1	1
8 月	11	3				4	1		3	6
9 月	8					5			3	5
1 0 月	4	1				3				4
1 1 月	13	2				6	1		4	11
1 2 月	13	1				5	1		6	9
計	109	21	1			52	4		31	70

過去5か年救助出動状況

(件) (人)

種別 年別	出 動 件 数	事 故 種 別								救 助 人 員
		交 通 事 故	水 難 事 故	自然災害 風水害等 事故	機械による 事故	建物等による 事故	ガス欠 事故及び	破 裂 事 故	その他の 事故	
令和３年	120	24	4	1	1	81	2		7	74
令和４年	138	26	4	2	1	87	5		13	82
令和５年	104	21				73	4		6	58
令和６年	107	21	5		1	71	4		5	53
令和７年	109	21	1			52	4		31	70

地区別救助出動状況

(件) (人)

地区別 種別	出動件数	事故種別								救助人員
		交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠ガス事故及び	破裂事故	その他の事故
江別地区	30	10	1				9			10
野幌地区	41	6					22	3		10
大麻地区	38	5					21	1		11
計	109	21	1				52	4		31

発生場所別救助出動状況

(件) (人)

発生場所別 種別	出動件数	事故種別								救助人員
		交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠ガス事故及び	破裂事故	その他の事故
屋内	住居	74					47			27
	その他の屋内	4					2	2		3
屋外	道路	高速自動車国道								
		その他の道路	23	21				1		1
	水面	内水面	1		1					
		外水面								
	その他の屋外	7					3	1		3
地下										
その他										
計		109	21	1			52	4		31

救 急 編



救 急 資 器 材 点 検

救 急 活 動

(人)

出動件数	傷病者搬送件数	不搬送件数	医師搬送	資器材搬送	傷病者搬送人員
6,045	5,151	894	1		5,165

月 別 救 急 出 動 状 況

(件)

種別 月別	出 動 件 数	事故種別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	529	1			18	4	1	71		6	390	37	1		
2月	491	4		1	10	6		72	1	5	348	44			
3月	476				15	5	2	61		3	349	40			1
4月	423	3			10	3	2	73		2	300	29			1
5月	471	3			19	1	3	79	1	7	315	42			1
6月	461	4			15	2	7	79			304	48			2
7月	545	3			19	4	8	63	3	1	411	32			1
8月	518	1			16	4	7	69		2	393	25			1
9月	478	3			24	4	6	60		3	327	50			1
10月	518	4			24	4	2	71	2	1	357	53			
11月	564				21	4	2	78	1	8	410	38			2
12月	571	7			22	3	4	94	1	8	391	41			
計	6,045	33		1	213	44	44	870	9	46	4,295	479	1		10

(人)

搬送人員	5,165	6			165	41	40	783	6	30	3,623	471			
------	-------	---	--	--	-----	----	----	-----	---	----	-------	-----	--	--	--

過去5か年救急出動状況

(件) (人)

種別 年別	出 動 件 数	事 故 種 別													搬 送 人 員	
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送		そ の 他
令和3年	4,870	30	1	2	193	36	26	662	9	28	3,546	325			12	4,415
令和4年	5,429	26		2	215	54	27	798	12	39	3,919	335			2	4,606
令和5年	6,081	36			233	56	49	747	10	45	4,511	390			4	5,177
令和6年	5,811	38			203	41	39	829	9	25	4,163	455	1	1	7	5,012
令和7年	6,045	33		1	213	44	44	870	9	46	4,295	479	1		10	5,165

曜 日 別 救 急 出 動 状 況

(件)

曜 日	種 別 出 動 件 数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
月	964	3			29	5	3	121	1	5	700	95			2
火	851	5			34	7	2	102	2	6	617	74	1		1
水	889	3			31	7	3	148	2	8	632	54			1
木	844	7			25	6	2	122		10	586	85			1
金	893	6			32	9	5	130	1	4	618	86			2
土	834	6			39	6	17	122	2	5	588	47			2
日	770	3		1	23	4	12	125	1	8	554	38			1
計	6,045	33		1	213	44	44	870	9	46	4,295	479	1		10

時 間 帯 別 救 急 出 動 状 況

(件)

時間帯	種別 出動 件数	事故の種類別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
0～2	276	1			3	1		35		5	219	12			
2～4	208				1	1		21	1	4	163	17			
4～6	203			1	5	1		31	2	2	152	9			
6～8	435				16	1		68		5	332	13			
8～10	807	4			33	8	3	112	1	1	598	45			2
10～12	787	3			29	13	12	116		4	513	94	1		2
12～14	632	4			25	2	9	82	1	5	413	89			2
14～16	670	7			23	9	6	94		3	457	70			1
16～18	644	4			42	6	6	103		5	424	53			1
18～20	582	6			23	1	4	86	2	4	427	29			
20～22	463	4			8		4	69	1	5	340	31			1
22～24	338				5	1		53	1	3	257	17			1
計	6,045	33		1	213	44	44	870	9	46	4,295	479	1		10

(件)

高速自動車道救急出動状況

(件)

– 33 –

年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調

(人)

種別 区分		事 故 種 別											計	
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
												転 院 搬 送		そ の 他
新生児	生 後 28 日 未 満										2	5		7
乳幼児	28日以上7歳未満				1			35			135	17		188
少 年	7歳以上18歳未満				21		25	24		5	75	9		159
成 人	18歳以上65歳未満	2			94	34	13	107	4	21	797	126		1,198
高齢者	65 歳 以 上	4			49	7	2	617	2	4	2,614	314		3,613
不 明														
計		6			165	41	40	783	6	30	3,623	471		5,165

年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調

(人)

程度 区分		傷 病 程 度 別					計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
新生児	生後28日未満		2	5			7
乳幼児	28日以上7歳未満		6	56	126		188
少 年	7歳以上18歳未満		1	8	42	108	159
成 人	18歳以上65歳未満		16	109	433	640	1,198
高齢者	65 歳 以 上		99	586	1,838	1,090	3,613
計			116	711	2,374	1,964	5,165

医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

種別		急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
		管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外
救急医療機関	国 立	55	55	2	2	6	6	23	23	86	86
	公 立	1,181	78	21	4	148	5	171	40	1,521	127
	公 的	55	55	2	2	2	2	17	17	76	76
	私 的	2,170	769	135	57	607	207	353	187	3,265	1,220
	私 的 診 療 所	61	45	5	1	13		15	13	94	59
	計	3,522	1,002	165	66	776	220	579	280	5,042	1,568
その他の医療機関	国 立										
	公 立	4	4			1	1	3	3	8	8
	公 的										
	私 的	67	61			1	1	10	9	78	71
	私 的 診 療 所	30	7			5	1	2	1	37	9
	計	101	72			7	3	15	13	123	88
計	国 立	55	55	2	2	6	6	23	23	86	86
	公 立	1,185	82	21	4	149	6	174	43	1,529	135
	公 的	55	55	2	2	2	2	17	17	76	76
	私 的	2,237	830	135	57	608	208	363	196	3,343	1,291
	私 的 診 療 所	91	52	5	1	18	1	17	14	131	68
	計	3,623	1,074	165	66	783	223	594	293	5,165	1,656
その他の場所	臨時ヘリポート										
	そ の 他										
	計										
計		3,623	1,074	165	66	783	223	594	293	5,165	1,656

救急隊員の行った応急処置件数

(人)

種別 処置		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
応 急 処 置 対 象 人 員		3,623	165	783	594	5,165
止	血	30	4	71	13	118
固	定	18	37	62	20	137
人	工 呼 吸	14		1	1	16
心	マ ッ サ ー ジ	2		1		3
	う ち 自 動			1		1
心	肺 蘇 生	104	3	4	7	118
	う ち 自 動	77	2	3	3	85
酸	素 吸 入	670	7	25	130	832
気	道 確 保	78	2	5	6	91
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ	1				1
	喉 頭 鏡 ・ 鉗 子			2		2
	ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等	77	2	3	6	88
	気 管 挿 管					
	うちビデオ硬性喉頭鏡					
保	温	2,624	65	482	433	3,604
被	覆	26	30	175	26	257
在	宅 療 法 継 続	243	1	40	21	305
	点 滴 処 置	6			1	7
	気管切開孔・人工肛門等の外瘻	44		7	2	53
	上 記 以 外 の 処 置	193	1	33	18	245
除	細 動	16		1	1	18
静	脈 路 確 保	129	4	5	7	145
	C P A 前	42	2		1	45
	C P A 後	87	2	5	6	100
薬	剤 投 与	109	2	4	6	121
	ア ド レ ナ リ ン	84	2	4	6	96
	エ ピ ペ ン					
	ブ ド ウ 糖 溶 液	25				25
そ の 他 の 応 急 処 置		3,642	167	784	589	5,182
血 圧 測 定		3,517	163	769	574	5,023
聴 診 器 に よ る 聴 取		1,112	52	106	134	1,404
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		3,533	163	777	586	5,059
心 電 図		2,111	30	160	206	2,507
計		17,978	730	3,472	2,760	24,940

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

応急手当普及講習会の開催状況

講習別受講者数

種 別		開 催 回 数	受 講 者 数	内 容	
救命講習	普通救命講習	I	50回	1,173人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 （主に成人に対する方法）
		Ⅱ	10回	248人	上記講習に効果確認を加えた講習
		Ⅲ	7回	75人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 （主に小児、乳児、新生児に対する方法）
		計	67回	1,496人	
	上級救命講習		1回	9人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手 当、その他応急手当 （成人、小児、乳児、新生児に対する方法）
	救命入門コース		17回	1,054人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 （主に成人に対する方法、実技のみ）
一 般 救 急 講 習		54回	1,525人	応急手当（市民からの要請に基づく項目・ 時間により実施する講習）	

過去年別 応急手当普及講習会実施状況

(回,人)

			令和3年 以前	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
普通救命講習	I	回数	1,280	49	59	53	50	1,491
		男性	15,117	548	647	667	619	17,598
		女性	16,619	532	642	560	554	18,907
		合計	31,736	1,080	1,289	1,227	1,173	36,505
	II	回数	183	9	8	7	10	217
		男性	1,750	92	128	75	127	2,172
		女性	1,389	107	109	83	121	1,809
		合計	3,139	199	237	158	248	3,981
	III	回数	30		3	3	7	43
		男性	55			5	2	62
		女性	439		17	21	73	550
		合計	494		17	26	75	612
	計	回数	1,493	58	70	63	67	1,751
		男性	16,922	640	775	747	748	19,832
		女性	18,447	639	768	664	748	21,266
		合計	35,369	1,279	1,543	1,411	1,496	41,098
上級救命講習	回数	回数	39			1	1	41
		男性	279			6	6	291
		女性	374			4	3	381
		合計	653			10	9	672
救命入門コース	回数	回数	137	30	25	18	17	227
		男性	2,253	501	518	530	541	4,343
		女性	2,311	488	529	485	513	4,326
		合計	4,564	989	1,047	1,015	1,054	8,669
救命講習	回数	回数	1,669	88	95	82	85	2,019
		男性	19,454	1,141	1,293	1,283	1,295	24,466
		女性	21,132	1,127	1,297	1,153	1,264	25,973
		合計	40,586	2,268	2,590	2,436	2,559	50,439
一般救急講習	回数	回数	900	22	37	51	54	1,064
		人数	41,647	556	918	1,265	1,525	45,911

救命講習受講者年代別内訳（一般救急講習を除く）

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
男性	1,017	37	42	59	78	45	17		1,295
女性	954	44	39	93	107	25	2		1,264
計	1,971	81	81	152	185	70	19		2,559

消 防 団 編



令和 7 年の消防団の活動

消 防 団 員 数 状 況

(人)

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
							女性団員	
団 本 部	1	3						4
中 央 分 団			1	1	1	5	13	21
野 幌 分 団			1	1	1	5	15	23
北 部 分 団			1	1	1	5	10	18
大 麻 分 団			1	1	1	5	8	16
上 江 別 分 団			1	1	1	5	12	20
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	11	19
豊 幌 分 団			1	1	1	5	10	18
東 部 分 団			1	1	1	5	12	20
女 性 分 団			1	1	1	4	13	20
計	1	3	9	9	9	44	104	179
定 数	1	3	9	9	9	45	—	200

消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	(人)	
									女性団員	計
5 年 未 満								33	2	33
5 年 以 上 10 年 未 満							6	34	5	40
10 年 以 上 15 年 未 満					2	2	18	24	11	46
15 年 以 上 20 年 未 満				1	3	1	4	4	1	13
20 年 以 上 25 年 未 満				4	1	3	6	5		19
25 年 以 上 30 年 未 満						1	3	1		5
30 年 以 上		1	3	4	3	2	7	3	1	23
	女性団員			1	1	1	4	13	20	
計		1	3	9	9	9	44	104	—	179

※ 平均勤続年数 14.3年

消 防 団 員 研 修 派 遣 状 況

(人)

年度 課程	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
消防大学校 消防団長科	1					1			
北海道消防学校 幹部教育 指揮幹部科	1	1	1	1			1	1	1
基礎教育	1	1							
特別教育 女性団員課程	1		1	1	1			1	
北海道消防協会 指導員研修		1					1		

消 防 団 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
18 歳 ～ 19 歳									
20 歳 ～ 24 歳									
25 歳 ～ 29 歳							6		6
30 歳 ～ 34 歳						1	13		14
35 歳 ～ 39 歳						2	13	1	15
40 歳 ～ 44 歳					1	3	20	2	24
45 歳 ～ 49 歳				2	4	14	31	7	51
50 歳 ～ 54 歳			3	1	1	7	7		19
55 歳 ～ 59 歳			2	3		8	9	9	22
60 歳 以 上	1	3	4	3	3	9	5	1	28
女性団員			1	1	1	4	13	20	
計	1	3	9	9	9	44	104		179

※ 平均年齢 48.2歳

消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等の災害	捜索	その他の災害	演習・訓練	広報・指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	11				11	15		47	84
中 央 分 団	11				96	53		15	175
野 幌 分 団	5				99	43	11	45	203
北 部 分 団	6				101	40	14	17	178
大 麻 分 団	1				77	53	2	22	155
上 江 別 分 団	5				119	40		9	173
東 野 幌 分 団	7				87	62		43	199
豊 幌 分 団					90	53		56	199
東 部 分 団	20				80	44	3	43	190
女 性 分 団					18	164		53	235
計	66				778	567	30	350	1,791

消 防 の 沿 革

江別消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
明治 30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街 130 余戸の内、105 戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
31	12	・公設江別消防組の創設 ・1 条 1 丁目に番屋を設置し、腕用ポンプ 1 台を設備	9	・石狩川水系各河川氾濫により全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没		・戸長役場庁舎新築移転
33			7	・野幌停車場焼失		・江別村農会設置
34	5	・野幌に江別消防組第 2 部を増設し、腕用ポンプ 1 台を設備	9	・暴風雨により石狩川各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・大河原文蔵、最初の道議選に当選
37			7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫		・江別市場設立
38			5	・野幌兵村共有樹林地で火災		
39		・第 1 部組頭 1 部長 1 小頭 2 消防手 35 人、第 2 部小頭 3 消防手 22 人	12	・江別橋左岸以北 10 数戸焼失し、第 2 部消防手河田庄三郎殉職する		・江別村役場庁舎新築移転
42			4	・融雪、豪雨により石狩川及び千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
44			8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出		
大正 2			8	・暴風雨により豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・榎本農場小作地開放
8			5	・融雪異常暖気により石狩川及び千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
9	3	・王子 6 番地に江別消防組第 3 部を増設し、腕用ポンプ 1 台を設備	7	・降雨により石狩川及び千歳川氾濫		・石狩大橋竣工開通
10	12	・訓練熟達により金馬簾 1 条使用認可				・野幌原始林特別天然記念物の指定をうける
11	8	・一般寄附及び町費補助により鈴木式ガソリンポンプ 2 台を購入し、第 1 部、第 3 部に常置	8	・暴風雨により石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張川切替新水路着工（昭和 11 年完工）
12		・第 3 部番屋新築（14 坪 5 合）	4	・暴風雨により石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
15		・12 戸地区に私設消防組結成（江別消防組第 4 部の前身）				・石狩川の漁業に対する新規許可を停止
昭和 2	1	・私設火防溜水設置、警鐘梯子 3 か所設置				
	4	・江別火災予防組合で夜警番詰所を設置				
	3		7 9	・5 条 2 丁目で出火、15 戸焼失 ・豪雨により千歳川堤防決壊	6	・開村 50 年記念祝典挙行 ・飛鳥山公認競馬場開場
	5	・12 戸通り私設消防組を江別消防組第 4 部として編入	8	・石狩川及び千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	4	・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
	6		4 5	・融雪、異常低気圧により幌向川及び千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出 ・融雪、異常低気圧により石狩川及び千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出		・北海道無尽会社江別出張所設立

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 7			8	・豪雨により石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別市街 1.5m 浸水、田畑 4.123ha 浸水		
8			5	・融雪豪雨により石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
9	7	・組頭以下 81 人、札幌市において梨本宮殿下の御臨謁を受ける ・野幌火災予防組合が夜警番詰所を設置	1 10	・旧屯田兵第 2 大隊本部建物焼失 ・6 条 7 丁目仏壇灯明から出火、13 棟 23 戸焼失		・江別太火防組合結成
10	11	・第 1 部に自動車ポンプ（フォード V8）購入配置	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
11	10	・陸軍特別大演習地方行幸に関し、組頭以下 31 人陛下の御親謁を受ける ・第 3 部に自動車ポンプ（フォード V8）購入配置 ・第 2 部に自動車ポンプ購入配置	4 9	・12 戸において住宅 3 棟 3 戸焼失、2 人焼死 ・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
12	10	・江別高等女学校において防護団発団式				・江別町競馬会が廃止
14	4	・消防組と防護団を統合し、警防団とする（団員 321 人）。4 部制を 4 分団制とする	3	・上江別で 4 戸 2 棟焼失、母児 2 人焼死		
15		・第 2 分団消防部に自動車ポンプ購入配置				
16	1	・規律訓練優秀賞を受ける				
18	6	・警防団に常備制を敷き、機関員を常備団員とする	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・王子製紙工場が王子航空機工場に転換
20	10	・役場内に消防常備本部設置	7 11	・豪雨により石狩川及び夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・建具工場 2 棟焼失	7	・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
21	6	・4 分団制を 3 分団制とし団員 230 人、1 分団を 3 分団と合併中央分団、2 分団を野幌分団、4 分団を北部分団にそれぞれ改め、分団に消防部、予防部の 2 部を置く ・江別太私設消防団結成	11	・暴風雨により石狩川各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・王子航空機工場が北日本製紙工場になり操業開始
22	2 4 7	・本部に団員召集サイレン及び風速計設置 ・消防団令制定公布 ・警防団を消防団に改組（団員 205 人）	3 4 7	・元野幌煉瓦工場から出火、工場 1 棟、社宅 1 棟 5 戸焼失 ・融雪により石狩川及び幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・機関車の煙突の飛び火により 5 棟焼失		・江別、札幌（五番館）間に中央バス、雁来経由で定期バス運行 ・江別保健所開設
23	3 10	・消防組織法の制定により自治体消防機構となる ・大麻私設消防団結成	5	・上江別で煙突の飛び火により 3 棟焼失 ・豊幌で煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・開基 70 周年記念祝典 ・国立札幌病院江別診療所（現江別市立病院）開設
24	4	・消防委員会設置 ・江別町火災予防条例、危険物取締条例制定	2 6 7	・角山で煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失 ・角山で取り灰の不始末により住宅 3 棟焼失 ・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		・元江別の一部を緑町、一番町と改める

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			9	・野幌機農高等学校で火災		
昭和 25	4	・江別消防団員定員条例改正（定数 150 人）	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太の資材工場 3 棟焼失		・町政だより発刊 ・江別町野幌出張所を開設
	26	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	3 7 9	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失 ・萩ヶ岡醸造製油会社から出火 18 棟焼失 ・道立野幌高等学校道教員研修所焼失 7 人焼死		・江別商工会議所設立 ・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる（現江別市立病院）
	27	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11	・元野幌窯業工場から出火、2 棟焼失		
	28	・江別地区警察署と相互応援協定締結	5	・3 条 3 丁目で出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 人、焼損面積 6,136 坪		
	29	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成	4	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	6	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する
		・市制施行により江別市消防団に改称	5	・暴風により家屋全壊、半壊多数	7	・市制施行、江別市となる
		・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	9	・台風 15 号により家屋全壊、半壊。農作物の 90%壊滅		
		11				
		・火災予防組合の結成に伴い、消防団予防部の解消と分団の消防部長制を廃止し、副分団長及び副班長制とする				
	30	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出	8	・全道青年大会開催
		10				
		12				
		・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺において行う				
	31	・東西野幌自衛消防隊結成	2 4 5 9	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失 ・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出 ・元野幌窯業会社から出火、16 棟焼失 ・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し、江別市街地の給水開始
	32	・北部分団 30 周年記念式典	5	・上江別放火により 4 棟焼失	12	・公益質屋開設
		7	9	・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha		・上江別に母子寮完成
		10				
		・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する				
	33	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
	34	・出初め式における最後の登梯式を行う	2	・道立江別高等学校で火災	5	・市内バス運行開始（江別駅前～対雁市営住宅）
		10				
	35					
	36	・消防無線電話（中短波）新設	2 7	・緑町の建設会社寮から出火、2 棟焼失、2 人焼死 ・集中豪雨により石狩川各支川隘水氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000 戸		・江別駅前国道、市道中央通舗装完了
	37	・119 番の設置	1	・美原の住宅から出火、2 棟焼失、4 人焼死	3	・交通安全都市を宣言

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと
昭和 37	8	・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風 9・10 号により家屋、田畑浸水 1,135 戸、罹災者 6,487 人	10	・北海道水防訓練が行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱が市内に広がる
38	4	・江別市火災予防条例の改正				
39	3	・江別市消防団条例改正 (定数 100 人)	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びにより 4 人焼死	8 10	・道営大麻団地起工式 ・市制 10 周年記念式典
	5	・日本損害保険協会から火災保険号(ポンプ車)204号車が寄贈される				
	10	・江別市消防創設 65 周年記念式典				
40	3	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定	9	・台風 23・24 号により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		・野幌原始林の森林公園造成着工
	4	・美原自衛消防隊結成				
	7	・江別市消防団条例改正 (定数 110 人)	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など 2 棟焼失		
		・江別市消防団大麻分団増設、4 分団制となる				
	8	・消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与される				
41	4	・豊幌自衛消防隊結成	8	・集中豪雨により石狩川各支川溢水、家屋浸水、田畑冠水 400ha	1 6 12	・道立消防学校完成 ・下水道事業着工 ・市役所新庁舎高砂町に完成
	9	・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町 30 番地)				
42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施				
43	7	・救急車 301 号車購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度4)により家屋一部破損 58 戸	5 6	・江別市旗を制定 ・江別市開基 90 年、市制施行 15 周年記念式典
		・江別警察署と救急事態に際しての相互応援協定を締結				
	10	・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町 24 番地)跡地に消防署中央出張所を新設、2 出張所制となる			10 11	・新石狩大橋完成 ・野幌屯田兵村記念館完成
		・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置				
	11	・消防団に北海道知事から表彰旗が授与される				
	12	・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町 26 番地)、3 出張所制となる				
44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	2	・異常降雪により国道 12 号交通渋滞、バス及び一般車 500 台、約 2,500 人が被害を受ける	1 11	・市民憲章制定 ・江別市火防衛生組合解散
45	4	・篠津自衛消防隊結成	3	・異常降雪により交通渋滞 388 人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める
	12	・上江別自衛消防隊結成	4	・融雪により内水湛水、床下 63 戸、田畑浸水 300ha		・江別太火防組合解散
			5	・融雪により内水湛水、床上 27 戸、床下 48 戸、田畑浸水 1,078ha、道路冠水 10.5km		
46	3	・江別市消防団条例改正 (定数 125 人)			5 9	・重兵衛渡し渡船廃止 ・榎本公園に對雁 100 年記念碑完成
		・日野医院から救急車 302 号車が寄贈される				
	4	・消防団上江別分団増設、5 分団制となる			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定
	6	・消防用無線電話(超短波)新設				
	10	・東野幌自衛消防隊結成				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 46	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転（緑町東2丁目）、4出張所制となる				
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築（現上江別南町1番地25）、5出張所制となる				
47	4	・八幡自衛消防隊結成	9	・集中豪雨により門水湛水、床上6戸、畑作被害18,2ha、床下24戸、道路4か所	12	・東野幌青少年会館完成 ・ゴミ粉碎処理工場運転開始
	6	・日本消防協会から広報車601号車が寄贈される				
		・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
	7	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定締結				
	10	・東光自衛消防隊結成				
48	11	・消防本部機構改革3課6係制とする				
	12	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結				
	1	・江別市消防本部に救助隊設置				
	5	・野幌森林自衛消防隊結成				
	10	・日本損害保険協会から火災保険号101号車が寄贈される ・豊幌自治会から豊幌消防会館が寄贈される				
49	1	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	4	・低気圧接近の影響により家屋等の全半壊、一部破損	8 10	・第1回市民まつり実施 ・史跡駅通の松の伐採
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置				
50	10	・江別市消防団条例改正（定数150人） ・消防団東野幌分団を増設、新築移転（東野幌本町7番地）、6分団制となる ・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築（東野幌本町7番地）、6出張所制となる ・江別市火災予防条例の全部改正	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上259戸、田畑浸水906ha ・台風6号により床上241戸、田畑冠水1,649ha、土木被害24か所、死者1人	10 12	・野幌老人憩いの家開設 ・夜間急病診療所開設
51	3	・消防監視用テレビ廃止 ・江別市消防協力者要綱を規定 ・拝野武二氏から広報車603号車が寄贈される			11	・石狩大橋架替工事完成
52	3	・江別太自衛消防隊解散	6	・幸町木材店から出火、7棟焼失	5	・米国グresham市と姉妹都市提携 ・江別市開基100年
	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替				
53	2	・消防救急指令装置導入、運用開始			7	・高知県土佐市と友好都市提携
	10	・江別消防創設80周年記念式典 ・真願寺に消防顕彰碑を建立				
54			10	・台風20号により門水湛水、床上1戸、床下23戸、田畑浸水130ha	3 11	・大麻体育館開設 ・市街地東光通東光橋完成
55	3	・日本損害保険協会から救急車(3B型)302号車が寄贈される	4	・上江別で子供の火遊びにより2戸1棟焼失、5人焼死	7 9	・江別市防災訓練が行われる ・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	4	・織田武雄氏他から消防ポンプ自動車(CD-I型)205号車が寄贈される				
	7	・拝野武二氏から指令車(J-36型)が寄贈される ・江別市火災予防条例の一部改正				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 56	8	・集中豪雨、台風 15 号の災害活動に対し、緑町第 2 自治会長から消防本部に感謝状が授与される	2 8	・東野幌で住宅 1 棟焼失、3 人焼死 ・集中豪雨により石狩川各支川溢水氾濫、全壊 4 戸、床上浸水 440 戸、田畑浸冠水 5,509ha ・台風 15 号により門水湛水、床上浸水 91 戸、田畑冠水 1,805ha	3 4	・江別市立病院江別高等看護学院閉院 ・ごみ焼却処理場運転開始
	11	・集中豪雨、台風 15 号の災害活動に対し、江別市長から消防本部に表彰状が授与される				
	12	・集中豪雨、台風 15 号の災害による防災功労として、北海道知事から消防本部に防災功労章並びに消防団に竿頭綬が授与される ・ライオンズクラブ国際協会 331 - A 地区から水害救助用ボートが寄贈される				
57	2	・萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設	3	・浦河沖地震発生(震度4)軽傷 1 人、土木被害 1,000 万円	4 8	・水道庁舎完成 ・北海道水防訓練行われる(石狩川河畔)
	3	・消防庁長官から消防本部に防災功労章並びに消防団に竿頭綬が授与される				
	8	・日本消防協会から緊急給水用ろ水器が寄贈(市水道部に配置)される				
	9	・昭和 56 年集中豪雨、台風 15 号の災害による防災功労として、内閣総理大臣から表彰状及び功労賞が授与される				
58	5	・日赤江別市地区から救命ボートが寄贈される			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢の 31.9 キロ開通
	10	・日本道路公団札幌建設局と救急業務に関する協定を締結 ・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
59	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1 2 4	・江別市立病院外来新棟完成 ・勤労者研修センター完成 ・野幌若葉小学校開校
	4	・消防本部(署)の機構改革、本部 3 課 6 係、消防署 7 係 6 出張所			7	・道立大麻高等学校開校 ・北海道水防訓練行われる(石狩川大橋左岸) ・市制施行 30 周年
	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転(3 条 1 丁目)				
60	8	・日本消防協会から電源照明用資器材搬送車 503 号車が寄贈される ・日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 103 号車が寄贈される			4	・市外局番が「011」へ変更
	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
61	3	・江別市火災予防条例の一部改正	7	・見晴台で店舗兼住宅 1 棟焼失、母子 3 人焼死	4 7	・北光小学校開校 ・森林キャンプ場完成
	4	・江別市消防団条例改正(定数 175 人)	11	・文京台緑町の大学学生食堂新築工事現場で火災、焼死 2 人、負傷者 9 人	11 12	・J R 高砂駅の開業 ・保健センター完成
	5	・消防団豊幌分団増設、7 分団制となる				
	8	・仮設訓練塔 1 棟を消防訓練場に設置				
62	3	・救急自動車 302 号車を購入			4	・文京台小学校開校
63	3	・化学車 104 号車を購入	9	・東野幌町でガス爆発により住宅 1 棟 2 戸全壊、半径 130m の範囲内の 57 棟に被害	3 5	・北海道情報大学着工 ・江別市コミュニティセンター着工
	4	・消防署の機構改革 6 出張所制を 3 出張所制とする				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 63	4	・江別市消防団条例改正（定数 187 人）				
	6	・消防団副団長の 2 人制				
	9	・消防団東部分団増設、8 分団制となる				
		・消防庁舎建設準備委員会設置				
平成元	3	・消防庁舎建設委員会を設置			4	・北海道情報大学開学
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 102 人）			8	・江別市情報図書館オープン
					9	・江別市コミュニティセンターオープン
						・第 44 回国民体育大会開催
					10	・江別市葬斎場オープン
2	4	・江別市職員定数条例改正（定数 104 人）			3	・第二大麻体育館オープン
		・消防署の機構改革、副署長制を 2 課制とする			6	・江別市情報図書館と市内中学校の情報オンライン化
	8	・アポロキャップを導入				
3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区（組）、石狩北部地区（組）及び南空知（組）との消防相互応援協定廃止			3	・北電江別発電所廃所
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 105 人）			4	・江別市郷土資料館オープン
		・北海道広域消防相互応援協定締結			11	・S C C 国際交流センター完成
		・江北地区自衛消防隊結成				・人口が 10 万人を超える
	7	・消防本部庁舎着工				
	8	・女性消防団員 10 人採用				
4	4	・江別市職員定数条例改正（定数 107 人）			2	・道立食品加工研究センターオープン
		・江別市消防団条例改正（定数 192 人）			4	・ふれあいワークセンターオープン
		・機構改革により、通信指令室、救助隊を設ける				
	8	・女性消防団員 5 人採用（計 15 人）				
		・第 21 回全国消防救助技術大会出場（千葉市）				
	10	・消防本部庁舎完成				
5	2	・指揮車購入			4	・中央中学校開校
	3	・消防本部庁舎新築移転（野幌代々木町 80 番地）、緊急情報システム運用開始			7	・陶芸の里セラミックアートセンター着工
		・旭川ガス（株）から救助工作車 504 号車が寄贈される			10	・王子・神崎製紙合併、新王子製紙となる
	4	・江別市消防団条例改正（定数 197 人）				・市役所、第 2・第 4 土曜日完全閉庁開始
	8	・第 22 回全国消防救助技術大会出場（福岡市）			11	・江別市花き栽培技術指導センターオープン
	10	・災害弱者緊急通報システム稼働運用開始			12	・四季のみち完成
		・米国市長会、消防本部庁舎視察				
		・女性消防団員 7 人採用（欠員 2 人）計 20 人				
	11	・第 9 回全国婦人消防操法大会出場（横浜市）				
		・消防団副団長 3 人制				
6	2	・（社）江別市及び三郡医師会と高速自動車国道等の救急・救助活動に関する協定書締結	7	・石狩川水難事故により中学生男子 3 人水死	4	・江別市ガラス工芸館オープン
	3	・はしご付き消防自動車 502 号車（38m級）を購入			10	・市制施行 40 周年を迎える
	4	・江別市職員定数条例改正（定数 111 人）				・人口が 11 万人を超える
		・江別市消防団条例改正（定数 200 人）			12	・市役所、完全週休 2 日制スタート
						・陶芸の里セラミックアートセンターオープン

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 6	6	・第 46 回北海道消防大会開催 ・北海道広域消防相互応援協定の一部改正 ・女性消防団員 3 人採用、計 23 人 ・防火管理者連絡協議会と危険物安全協会から連絡車 606 号車が寄贈される			12	・勤労者総合福祉センターオープン
	7					
	10					
7	2	・消防ポンプ自動車(CD-II)202号車購入、中央分団配置 ・江別市職員定数条例改正(定数 113 人) ・救急救命士 2 人誕生 ・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工 ・日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(CD-I)207号車が寄贈される ・巨大地震・災害対策海外研修視察(消防長参加) ・江別市救急業務高度化推進協議会設立			1	・訪問看護ステーションオープン
	4				4	・いきいきセンターさわまちオープン
	5				10	・屯田資料館オープン
	6				12	・人口が 11 万 5 千人を超える
	9					・野幌グリーンモール完成
	10					
	12					
8	2	・消防署大麻出張所庁舎新築移転(大麻元町 192 番地 3)、業務を開始する ・消防ポンプ自動車(CD-I)を大麻分団に配置する ・江別市職員定数条例改正(定数 115 人) ・消防団に北海道消防協会長から表彰旗並びに表彰状が授与される ・江別市消防職員委員会を設置 ・(社)日本自動車工業会から高規格救急自動車 303 号車が寄贈される	6	・森林公園で行方不明者捜索(トド山口駐車場)	2	・第 3 回石狩川サミット開催
	4				3	・野幌小学校新校舎完成
	6				7	・江別高校新校舎完成
	10				12	・第 34 回北海道障害者スポーツ大会開催
	12					・第 45 回全道身体障害者福祉大会開催 ・市情報公開条例施行
9	2	・高規格救急自動車運用開始 ・江別市職員定数条例改正(定数 118 人) ・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加 ・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加 ・大型水槽車 108 号車を購入			4	・(財)江別市在宅福祉サービス公社事業開始
	4					・いずみ野小学校開校
	5				10	・知的障害者の入所施設開所(えべつ明友荘)
	7					・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン
	12					・デイサービスセンターあかしやオープン
10	1	・救護活動資器材搬送手動車の愛称決定「救太くん」 ・自治体消防 50 周年記念式典参加 ・江別市職員定数条例改正(定数 121 人) ・事務改善検討委員会設立 ・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習 ・全国消防長会北海道支部消防・救急事務研究会 ・災害支援車 801 号車を購入 ・江別消防創設 100 年記念事業 ・携帯電話分散受信方式 119 番受信運用開始			1	・江別市農協創立 50 周年
	3				2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立
	4					・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印
	5				4	・野幌農協創立 50 周年
	6					・岩田政勝氏に名誉市民章が贈呈される
	7				8	・土佐市友好都市 20 周年記念式典
	9				12	・人口が 12 万人を超える
	10					・江別市立病院新築
11	2	・高規格救急自動車 302 号車を購入 ・高規格救急自動車 2 台目運用開始 ・江別市職員定数条例改正(定数 125 人)	7 9	・道立大麻高等学校で火災 ・台風 18 号により 4,700 万円の被害	4	・上江別小学校開校
	3				6	・江別市ホームページ開設
	4				8	・江別市総合防災訓練行われる

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 11	4	・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める				
	6	・北海道防災航空隊員派遣 ・119 番通報訓練装置が防火管理者連絡協議会と危険物安全協会から寄贈される				
	8	・第 28 回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)				
	10	・第 84 回全国消防長会法制委員会開催				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を購入				
	12	2			2	・豊幌地区センターオープン
					3	・資源物の分別収集開始
					4	・介護保険制度スタート
					10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設
					12	・いきいきセンターわかきオープン ・保健センターを若草町に移転
12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転 ・日本消防協会から消防団に表彰旗並びに表彰状が授与される				
	3	・有珠山噴火、北海道広域消防相互応援協定により応援隊派遣 述べ 62 隊 143 人				
	4	・江別市職員定数条例改正(定数 128 人) ・消防本部に参事(防災担当)の職を設置 ・高規格救急車移動配備開始				
	7	・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)				
13	10	・江別市消防総合防災訓練 ・小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所に配備				
	1	・「消防力の基準」全部改正			2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成
	4	・江別市職員定数条例改正(定数 130 人)				・5 農協が合併して道央農協誕生
	9	・小型動力ポンプ積載車 705 号車を野幌出張所に配備			3	・江別市立学校給食センター完成
14						・新ごみ処理施設建設工事着工
					7	・江別市防災(水防)訓練が行われる
					8	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される
						・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝
15					12	・J R 大麻駅バリアフリー化工事完成
					3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布
					10	・江別河川防災ステーションオープン
16					12	・江別市環境クリーンセンター「くるりん」が稼働を開始
					5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車)導入
						・土佐市・江別市友好都市提携 25 周年式典
17					8	・全国中学校体育大会水泳競技大会開催
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 16	4	・メディカルコントロール体制を構築し、救急救命士による包括的指示下での除細動開始 ・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官から消防本部に防災功労者表彰が授与される	9	・台風18号による強風のため軽傷者5人、街路樹等の倒木1,862本、建物等の一部損壊190件、農業被害、被害総額47,245万円	3	・江別市中心市街地活性化基本計画策定 ・第5次江別市総合計画スタート ・市制施行50周年記念式典 ・防災連携消防訓練実施（東野幌本町：パルタウンのっぽろシティハウス） ・家庭ごみ収集の有料化開始 ・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定
	8				4	
					9	
					10	
17	4	・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始 ・（財）日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備のため、AED（自動体外式除細動器）一式を購入	12	・野幌松並町で住宅1棟焼失、焼死者2人	3	・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行 ・道央圏連絡道路（美原バイパス）開通 ・江別市地域福祉計画策定 ・江別の顔づくり事業都心地区整備基本計画策定 ・防災連携消防訓練実施（大麻沢町サンゴールドビル） ・江別市において道内初の認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画「ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ」づくりを通じた地域活力コミュニティの再生が地域再生法に基づき認定
	12				10	
					11	
18	10	・消防顕彰碑消防本部庁舎移設に伴う工事完了 ・具体的指示下での薬剤投与が可能な救急救命士の運用開始	1	・落雪事故が多発し、死者1人	3	・江別市行政改革大綱見直し ・市民活動センターオープン ・防災連携消防訓練実施（江別市コミュニティセンター周辺） ・江別市・新篠津村合併協議会設置
	12				9	
					10	
19	6	・江別・野幌・大麻出張所の各水槽車へAED積載配備 ・PA連携本運用開始			2	・江別市・新篠津村合併協議開始 ・広域消防水難連携訓練（江別河川防災ステーション前、千歳川） ・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会により野幌駅周辺地区活性化計画（案）作成
					8	
					11	
20	5	・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催（計2回開催） ・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣（予防2人・警防10人） ・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催（計4回開催） ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催（計2回開催） ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催（計5回開催）		・硫化水素ガスによる事故が多発し、死者2人、負傷者3人	8	・北海道防災総合訓練実施（江別高校跡地） ・江別市・新篠津村合併協議会廃止
	7				9	
	8					
	9					

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 20	10	・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催（計4回開催）				
	12	・水槽付消防ポンプ自動車107号車を購入				
	21	6 ・高機能消防通信指令システム実施設計委託 8 ・水槽付消防ポンプ自動車103号車を購入 ・住宅用火災警報器設置推進本部運用開始	12	・角山建設資材置き場から出火3棟焼失	2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結
					3	・道央圏連絡道路（美原道路）開通
					4	・第5次江別市総合計画後期基本計画を策定
					7	・江別市自治基本条例スタート
					9	・ねんりんピック将棋大会、江別で開催 ・江別市防災連携訓練（消防学校） ・新型インフルエンザ流行（A/H1N1型）
	22	1 ・災害対応特殊救急自動車301号車を購入 2 ・有限会社トンデンファームからAED（自動体外式除細動器）トレーニング用マネキン等が寄贈される 5 ・江別市環境整備事業組合からAED（自動体外式除細動器）1台が寄贈される 6 ・高機能消防指令システム（Ⅱ型）整備工事契約締結 12 ・丸山産業有限会社からAED（自動体外式除細動器）1台が寄贈される	8	・JA道央野菜選別施設1棟焼失	8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、第29回赤十字北海道大会開催
					9	・江別市防災訓練実施（北翔大学）
					10	・第19回国勢調査が行われ、江別市において戦後初の人口減少 ・鈴木章北大名誉教授、ノーベル化学賞受賞
	23	1 ・有限会社トンデンファームから連絡車として軽自動車1台が寄贈される 3 ・東日本大震災発生により、緊急消防援助隊北海道隊として救急隊員2人、救助工作車1台と救助隊員5人を宮城県石巻地区に派遣 ・高機能消防指令システム運用開始 4 ・緊急消防援助隊北海道隊として救助工作車1台と救助隊員5人を宮城県石巻地区に派遣 6 ・機構改革、消防本部に指令課を新設し、警防課に救急高度化担当（主幹及び主査）を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化 10 ・東日本大震災の緊急消防援助隊派遣により消防本部が全国消防長会から表彰を受ける 11 ・東日本大震災の緊急消防援助隊派遣により消防本部が総務大臣から表彰を受ける ・JA道央から高規格救急車303号車が寄贈される	1	・記録的な大雪により落雪事故が続発し、死者1人	2	・鈴木章北大名誉教授に江別市特別栄誉賞贈呈
			8	・集中豪雨により荻ヶ岡床上浸水1戸、他市内道路冠水箇所多数発生	3	・東日本大震災発生により被災地へ職員派遣、物的支援を行う（12月まで）
			12	・弥生町で住宅1棟焼失、焼死者1人	10	・第三中学校統合により江北中学校廃校 ・江別市防災連携訓練（市立上江別小学校） ・野幌鉄道高架に伴い新野幌駅開業
	24	7 ・連絡車606号車を購入 11 ・消防団東野幌分団を野幌若葉町へ新築移転 ・患者等搬送事業者として4事業者を認定	9	・市内で自動販売機などへの放火が相次ぐ	3	・中原通（鉄西線～鉄東線）が開通
			12	・大麻中町で異臭騒ぎ、住民66人が避難	6	・大麻3遺跡出土の土偶が道指定有形文化財に指定
					8	・JR野幌駅舎完成 ・江別出身の右代啓祐選手がロンドンオリンピック（陸上競技・男子十種競技）に日本代表で出場、順位は20位

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 24						
					9	・江別市防災連携訓練 (北海道消防学校)
25	3	・有限会社トンデンファームから 屋形テント 3 張と音響設備一 式が寄贈される	2	・大雪により市内小中学校が臨時 休校	3	・6 丁目通に高砂地下歩道（鉄 西線～鉄東線）が開通
	4	・江別出張所へ救急車が 24 時間 配備 ・機構改革、江別出張所に救急調 整担当（主査）を配置	3	・暴風雪により八幡地区で車両の スタックが続出	7	・土佐市との友好都市提携 35 周年を迎える
		・高規格救急自動車 302 号車を江 別出張所へ配置	8	・野幌町において共同住宅 1 棟部 分焼、死者 1 人	9	・江別市防災訓練（豊幌地区） ・江別市防災フェス（野幌地 区）
	5	・石狩振興局管内消防救急デジ タル無線の共同運用開始			11	・元野幌の一部を大麻泉町へ 町名変更
	10	・消防ポンプ自動車 203 号車を購 入			12	・9 丁目通に鉄道高架下道路が 開通
	12					
26	1	・江別市消防出初め式を市役所 前及び市民会館で実施	3	・向ヶ丘で住宅 1 棟全焼、死者 1 人	4	・第 6 次江別市総合計画策定
	4	・江別市消防 10 か年アクション プラン策定			7	・市政施行 60 周年
	10	・広報車 605 号車を購入 ・災害情報支援車 604 号車を購入 ・日本損害保険協会から小型動 力ポンプ積載車 701 号車が寄贈 される			8	・江別市防災訓練（北海道消防 学校）
					9	・短時間での集中的な豪雨に より浄水場の処理能力を超え 市内の約 3 分の 2 が断水
					11	・陸上十種競技アジア大会金 メダルの右代啓祐選手が市民 栄誉賞第一号に
					12	・野幌駅北口駅前広場完成
27	1	・水槽付消防ポンプ自動車 105 号 車を購入、江別出張所に配置 ・水槽付消防ポンプ自動車 109 号 車を消防署に配置			7	・平和のつどい初開催
	3	・総務省消防庁の消防団無償貸 付事業により消防ポンプ自動車 205 号車を借受ける			10	・右代啓祐選手日本選手権 6 連 覇（陸上競技・男子十種競技） ・野幌駅前商業ビル完成
	4	・機構改革、庶務課に人材育成担 当（主査）、及び消防課に消防技 術強化担当（主査）を配置				
	6	・株式会社トンデンファームから 消防団員訓練用ヘルメット 200 個が寄贈される				
		・夕張川総合水防訓練				
	10	・消防団女性分団設立				
28	3	・救助工作車 504 号車を購入	8	・台風 7 号により新栄通アンダー パス冠水		
	4	・機構改革、江別出張所、野幌出 張所及び大麻出張所に予防担当 （主査）を配置			4	・江別第一小学校開校
	10	・旭川ガスから子ども用防火服 20 着が寄贈される			8	・右代啓祐選手がリオデジャ ネイロオリンピック出場
	12	・日本消防協会から防災活動車 が寄贈される ・小型動力ポンプ積載車 706 号車 を大麻出張所へ配置				
29	2	・化学車 104 号車を購入	6	・大麻泉町で住宅 1 棟半焼、死者 2 人	3	・株式会社龍田工務店から無人 航空機（ドローン）が寄贈 される
	3	・株式会社トンデンファームから 救助訓練用マット 1 枚、訓練 人形 1 体、災害用マンホールト イレ 3 式が寄贈される			4	・健康都市宣言 ・都市と農村の交流センター 「えみくる」オープン
	8	・有限会社北野葬儀社から心肺 蘇生キット「あっぱくんライト」 60 個が寄贈される			9	・江別市総合防災訓練実施 （江別高校跡地）
	12	・指揮車 901 号車を購入 ・高規格救急自動車 305 号車を購 入			10	・健康都市宣言記念えべつ健 康フェスタ開催 ・グレンシャム市との姉妹都市 提携 40 周年記念祝賀会開催

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 30	1	・消防ポンプ自動車 204 号車を購入	9	・台風 21 号により強風被害が発生し、軽症者 2 人、住宅被害 36 件、停電 4,698 戸、倒木 2,694 本、倒木による通行止め 10 か所 ・北海道胆振東部地震により震度 5 強を記録。重症 1 人、中等症 1 人、軽症 3 人、市内全域停電、断水約 23,500 戸、家屋全壊 5 棟、半壊 19 棟、一部損壊 125 棟、避難所 6 か所開設（最大避難者数 519 人）	3	・角山小学校の廃校 ・複合施設「ゆめちからテラス」オープン ・土佐市友好都市提携 40 周年記念式典、祝賀会開催
	4	・機構改革により庶務課から総務課へ名称変更、総務課へ消防指令共同・広域化担当（主幹）を配置			5	
	5	・全国消防長会予防委員会開催（札幌市開催、江別市幹事）			8	
	6	・豊平川総合水防訓練				
	9	・北海道広域消防相互応援協定により後方支援隊 3 人を勇払郡厚真町に派遣				
	10	・はしご付消防自動車 502 号車を購入				
31	1	・小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所へ配置				
	4	・江別市消防本部公式キャラクターが「ボーカくん」に決定される ・機構改革により予防課を消防本部に配置。消防署に管理課を新設し指令課と統合。消防課、救急課を統合し消防 1 課、消防 2 課を新設 ・北海道広域消防相互応援協定により応援隊延べ 6 隊 27 人を夕張市石炭博物館模擬坑道火災に派遣				
令和元	7	・江別市学生消防サポーター発足、10 人の学生が登録	12	・一番町で住宅 1 棟全焼、死者 1 人	8	・江別市総合防災訓練実施（市立大麻小学校） ・市民交流施設「ぷらっと」オープン ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い北海道が独自に緊急事態宣言を発出、市内小中学校臨時休校、飲食店等に営業時間短縮要請 ・南大通大橋が再開通 ・野幌駅北口に東西グリーンモールが再開通 ・江別市生涯活躍のまち「コロールくえべつ」が全面オープン
	8	・小型動力ポンプ積載車 705 号車を野幌出張所へ配置			12	
	2	・水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を購入し、野幌出張所に配置 ・防火管理者連絡協議会、危険物安全協会から感染防護衣 200 セットが寄贈される ・新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により応援隊延べ 2 隊 8 人を夕張市に派遣			2	・江別市総合防災訓練実施（旧江別高校跡地） ・新型コロナウイルス感染症が第 5 類感染症に移行 ・2050 年までに CO2 排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言 ・土佐市友好都市提携 45 周年記念式典開催 全国高等学校総合体育大会（北海道開催）2 種目（ホッケー、水泳）を江別で実施
	7				3	
	10				4	
	3	・高規格救急自動車 301 号車を購入 ・災害支援車 801 号車を購入 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、庁舎設備等の整備及び感染対策資器材を増強	2	・札幌圏で記録的な大雪により公共交通機関が大幅に乱れたほか、建物倒壊などの雪害被害が発生	8	
	4	・小型動力ポンプ付水槽車 108 号車・小型動力ポンプ付積載車 704 号車を購入 ・警防課（救急高度化担当）を警防課（救急需要対策担当）に改称				
	5	・消防ポンプ自動車 206 号車を購入 ・Smart119 実証実験開始			5	
	8				8	

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
令和 6	3	・小型動力ポンプ付積載車 702 号車を購入	3	・西野幌で車両 1 台全焼、死者 2 人、負傷者 1 人	4	・第 7 次江別市総合計画策定
	4	・江別市消防 10 か年アクションプラン 2033 策定			6	・「江別市こどもが主役のまち宣言」を発表
	7	・夕張川総合水防訓練			8	・江別市総合防災訓練実施（旧江別高校跡地）
	11	・防火管理者連絡協議会、危険物安全協会から連絡車 607 号車が寄贈される			10	・市政施行 70 周年式典
令和 7	3	・救急自動車江別 5 を購入	2	・住宅火災 1 棟全焼、死者 1 人	3	・道央圏連絡道路（中樹林道路）開通
	9	・札幌圏消防指令センター共同運用開始			4	・えべつまちづくりアドバイザーにヒロ福地氏が就任
	10	・救急隊 4 隊 24 時間運用開始 ・マイナ救急実証事業開始 ・水槽槽付消防ポンプ自動車大麻 2 を購入				

江別市消防本部公式キャラクター



ボーカくん